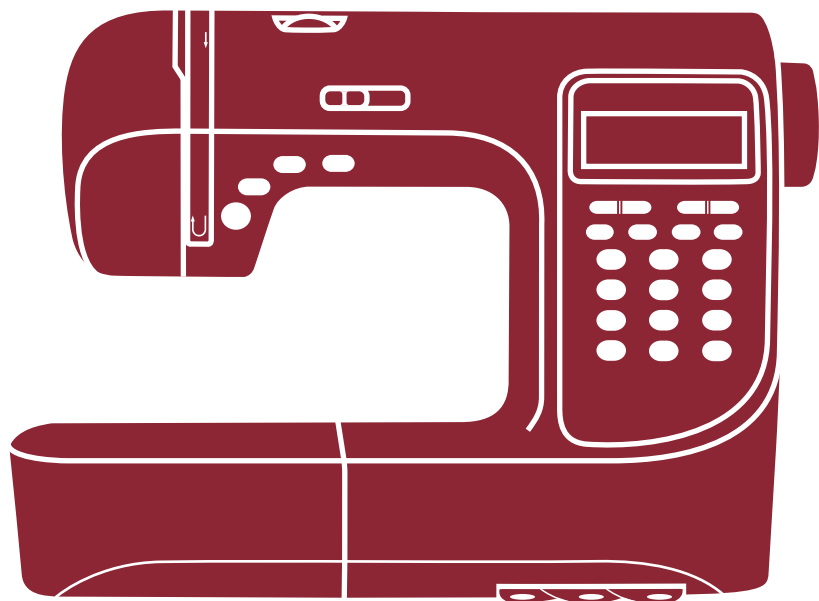




SINGER®

SN778EX 使用の手びき

このミシンを安全にお使いいただくため、この「使用の手びき」をご使用の前に必ずお読みください。

「使用の手びき」は手元に保管し、末長くご活用ください。

はじめに

このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このミシンは、直線縫いやジグザグ縫いはもちろん、ホームソーイングに必要な縫いが簡単にできるコンピュータミシンです。このミシンの特長をご理解いただき、正しくお使いいただくために、まずこの「使用の手びき」をよくお読みください。「使用の手びき」は、保証書と共に大切に保管してください。

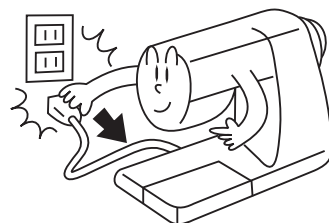
安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用いただくために、以下のことがらを必ず守ってください。

このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY。

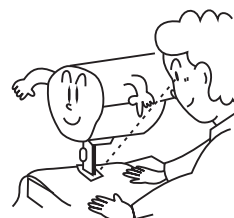
⚠ 警告 このマークの表示は感電、火災の恐れがありますから、特にご注意ください。

1. 一般家庭用交流電流 100V でご使用ください。
2. 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ ミシンのそばを離れるとき。
 - ・ ミシンを使用したあと。
 - ・ ミシン使用中に停電したとき。
 - ・ 接触不良、断線などで正常に作動しないとき。
 - ・ 雷が鳴りはじめたとき。



⚠ 注意 このマークの表示は感電、火災、けがなどの原因となりますから、特にご注意ください。

1. お客さま自身での分解、改造はしないでください。
2. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
3. ミシンの操作中はカマカバーなどのカバー類は必ず閉めてください。
4. 曲った針、先のいたんだ針はご使用にならないでください。



安全にご使用いただくために

5. 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
6. お子さまがご使用になるときや、お子さまの近くで使用されるときは、特に安全に注意してください。
7. 以下のことをするとき、電源スイッチを切ってください。



- ・針、針板、押え、アタッチメントを交換するとき。
 - ・ランプを交換するとき。
 - ・「使用の手びき」に記載のあるミシンの手入れをするとき。
 - ・原則として上糸、下糸をセットするとき。
8. ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、ご購入店にて点検、修理、調整をお受けください。
 - ・正常に動作しないとき。
 - ・落下などにより破損したとき。
 - ・水に濡れたとき。
 - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
 - ・異常な臭い、音がするとき。
 9. ミシンを正しく使用するために、安定したテーブルや机においてご使用下さい。

ミシンの取り扱い

- シンナーやベンジンなどでふかないでください。
- 低温の場所から出したときは、普通の温度になじむまで、しばらく置いてください。時間がたてば正常に作動するようになります。保管は、なるべく寒いところをさけてください。
- 直射日光にあてたり、高温多湿のところには置かないでください。



仕 様

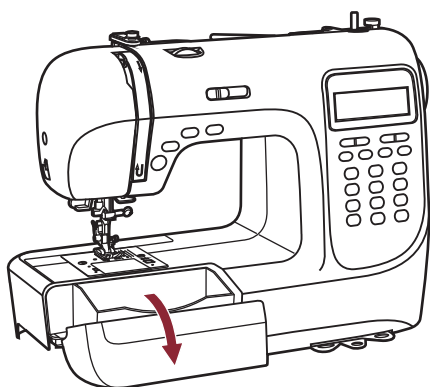
型 式	SN778EX
定 格 電 圧	100V
消 費 電 力	70W
周 波 数	50Hz/60Hz
LED ライト	5V Max. 100mW
寸 法	幅:404 mm × 奥行:188 mm × 高さ:298 mm
重 量	約 5.8 kg (本体のみ)

はじめに.....	2
安全にご使用いただくために.....	2-3
ミシンの取り扱い.....	4
仕様.....	4
補助テーブル・付属品.....	7
各部の名称とはたらき.....	8
左側面・前面/右側面・背面.....	8
操作部.....	9-13
液晶表示窓.....	14
縫い模様一覧.....	15
電源のつなぎ方.....	16
電源を入れます/電源を切ります.....	16
警告機能.....	17
針を取り替えるには.....	18
押えを取り替えるには.....	19
取り外します/取り付けます/シームガイドのつけ方.....	19
布地に適した針と糸の選び方.....	20
下糸をセットしましょう.....	21
糸コマをセットします.....	21
ボビンを取り出します.....	21-22
下糸を巻きます.....	22-23
ボビンを内がまにセットします.....	24
上糸を通しましょう.....	25
上糸を掛けます.....	25-26
糸通しの使い方.....	27
用途によって、下糸を引き上げ使用する際は次のように行ないます.....	28
下糸を引きあげます.....	28
糸調子の合わせ方.....	29
基本縫い（直線縫い及びジグザグ縫い）.....	30
直線縫い/ジグザグ縫い.....	30-31
縫い方向をかえるには/返し縫い/止め縫い.....	32
厚地の縫い方/段縫い.....	33
伸縮縫い.....	34
裁ち目かがり.....	35
ボタンホール.....	36-39
芯入りボタンホール.....	39
まつり縫い.....	40
ファスナー付け.....	41-42
つきあわせ.....	41
脇あき/スライダーをよけて縫うには.....	42
つくろい縫い.....	43-44
アイレット.....	45
ボタンつけ.....	46
飾り縫い.....	47
スカラップ.....	47

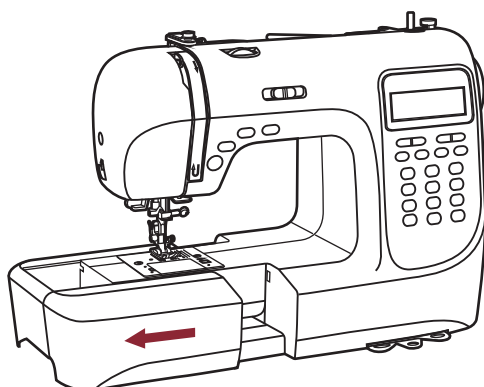
もくじ

ファゴティング.....	48
パッチワーク.....	48
反転模様縫い.....	49
記憶.....	50-52
ミシンの手入れ.....	53
LED ライトの交換.....	53
困ったときには.....	54-55
模様の選び方.....	56-61
縫い模様一覧.....	56
修理サービス要領.....	62
フットコントローラー(別売り).....	63

補助テーブル・付属品



付属品箱は、手前方向に開けてください。



補助テーブルは左方向へ引くとはずれます。

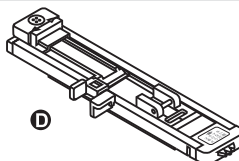
付属品 ※必ず下記付属品が入っていることを確認してください。



ジグザグ押え
(ミシン本体についています)



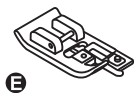
ファスナー押え



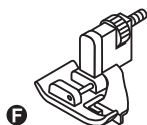
ボタンホール押え



ボタンつけ押え



縁かがり押え



ブラインドステッチ押え



サテン押え



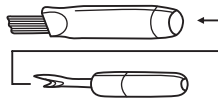
ボビン



ドライバー



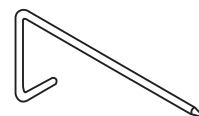
ドライバー (小)



ブラシ付きリッパー



針パック



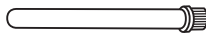
シームガイド



糸コマ押え(大)



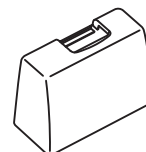
糸コマ押え(小)



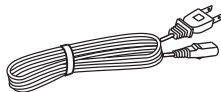
付属糸立て棒



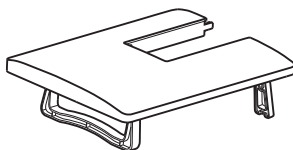
糸こま座



ハードケース



電源コード

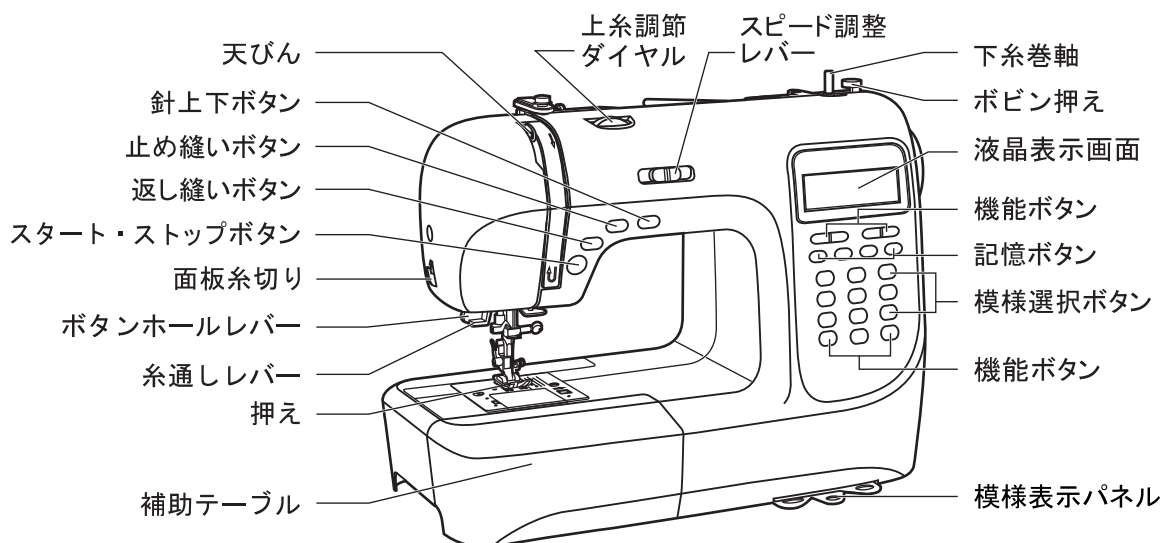


ワイドテーブル

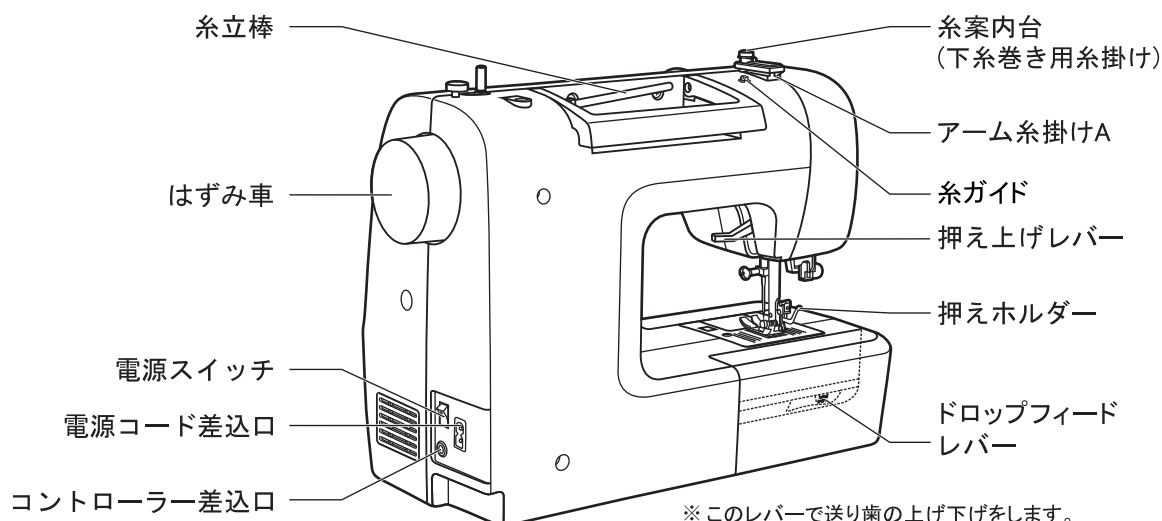
各部の名称とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名称とはたらきを説明します。ミシンをご使用になる前に、よく読んで各部の名称を覚えておきましょう。

● 左側面・前面

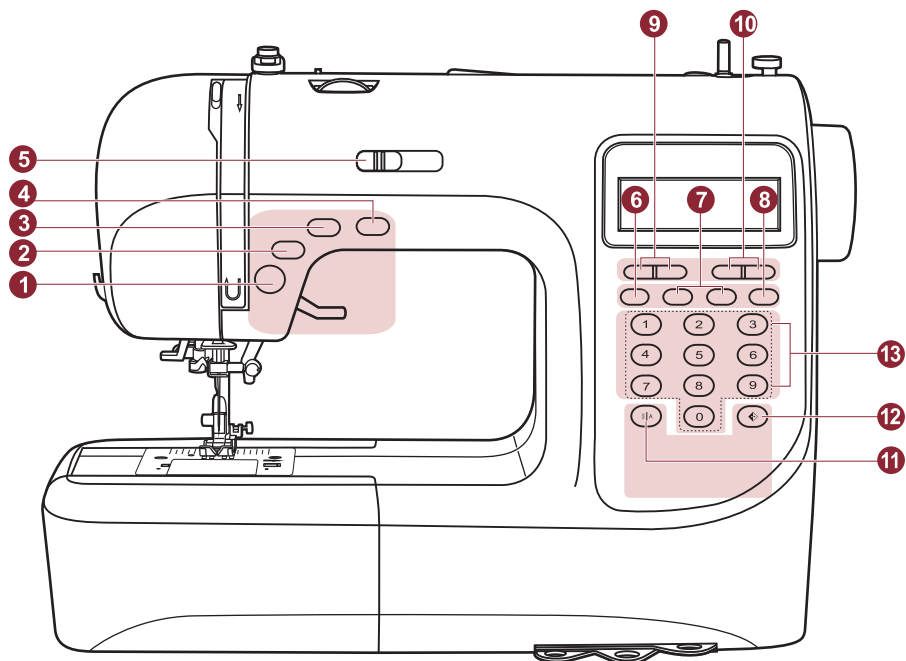


● 右側面・背面



※ このレバーで送り歯の上げ下げをします。レバーを正面から見て左にすると送り歯が針板に出てきて、布を送ります。通常はこの位置にしておきます。(P13 参照)

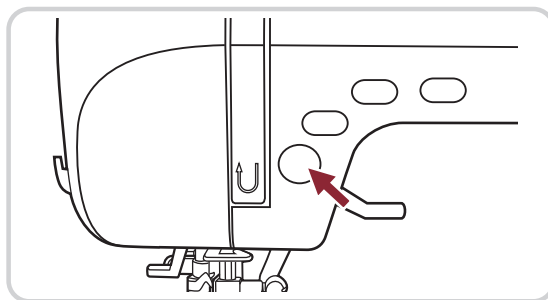
各部の操作とはたらき



● **操作部** ミシンを動かす基本的な操作が手元で出来ます。

① スタート・ストップボタン

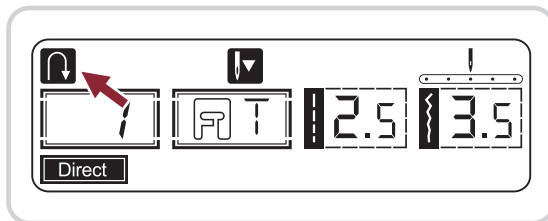
ミシンをスタートまたは停止します。
ボタンを押すと、安全のため動きはじめはゆっくりスタートしその後、スピード調整レバーでセットした速さで動きます。
停止すると、針上停止からスタートした場合は針が上がった状態で、針下停止からスタートした場合は針が下がった状態で止まります。



② 返し縫いボタン

ダイレクト模様選択の1～5の直線を選択しているときに返し縫いボタンを押すと、押している間、返し縫いをして、手を離すと止まります。

※裁縫中にボタンを押すと、返し縫いになり、離すと前進縫いになります。



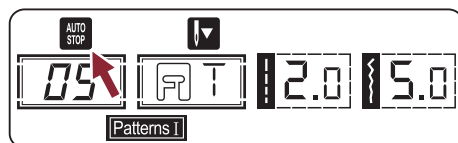
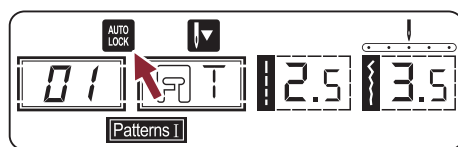
各部の操作とはたらき

③ 止め縫いボタン

ダイレクト模様選択の1~4又は模様一覧の01を選択しているとき、このボタンを押すと液晶表示窓に "AUTO LOCK" が表示され、数針止め縫いをして自動的に止まります。ミシンが止まると、"AUTO LOCK" 表示は消えます。

一般模様モード 02~08又は22~58 を選択しているときには、模様が完了するところで、数針止め縫いをして自動的に止まります。

もう一度ボタンを押したり、他の模様を選択すると、このボタンの機能は解除されます。



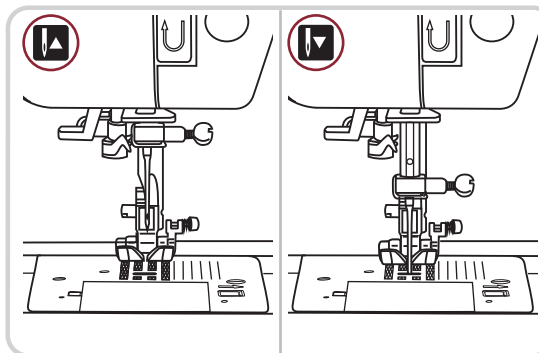
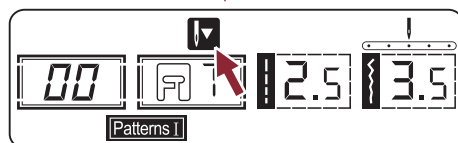
④ 針上下ボタン

このボタンを使用して、ミシンを止めるときに、針を上で止めるか、下で止めるかセットすることができます。

※縫っている間にこのボタンを押しても機能しません。ミシンが止まっているときだけに機能します。

ボタンを押して液晶表示窓に "▲" が表示されると、ミシンを止めたとき、必ず上で止まります。

又 "▼" が表示されると、必ず下で止まります。



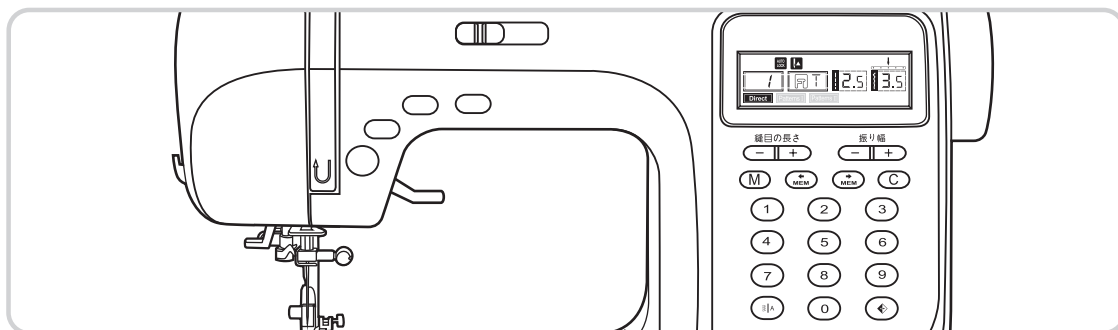
⑤ スピード調整レバー

ミシンの縫う速度を設定します。好みの速度にセットしてください。



各部の操作とはたらき

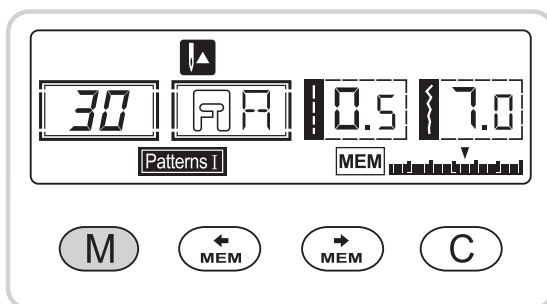
- **表示パネル** 表示パネルには、各種の機能ボタンが付いています。



⑥ 記憶ボタン "M"

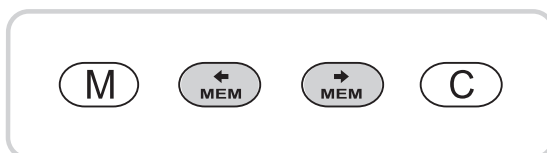
"M" ボタンを押すと液晶表示窓は一般模様モード "Patterns I" となり "MEM" が表示されます。この画面の状態で模様番号を押すと、その模様が記憶されます。いくつか模様を組み合わせる場合は連続して模様番号を入力します。もう一度 "M" ボタンを押すとダイレクト模様モードに戻り、記憶させた模様は保存されます。(モードの切替えはP.12を参考してください。)

※ダイレクト模様モードとボタンホール縫いのときは、機能しません。



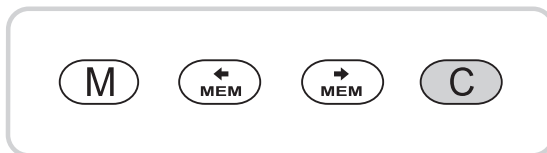
⑦ 矢印ボタン

"← MEM" または "→ MEM" ボタンを押すと、記憶した模様番号が画面に表示され、記憶した模様を確認することができます。



⑧ 取り消しボタン "C"

記憶した模様を取り消します。いろいろな模様をつなげて記憶させ、後でその中の模様を変更したいときに、取り消したい模様を表示させてからこのボタンを押すと取り消されます。



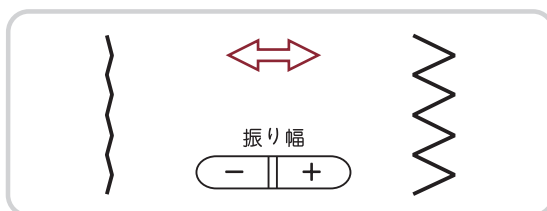
⑨ 縫い目の長さボタン

選んだ模様には標準の縫い目の長さが自動的に設定されていますが、縫い目の長さを変えたいときには「+」ボタン又は「-」ボタンを押します。液晶表示窓にはその縫い目の長さが表示されます。



⑩ 振り幅ボタン

選んだ模様には標準の縫い目の振り幅が自動的に設定されていますが、縫い目の振り幅を変えたいときには「+」ボタン又は「-」ボタンを押します。液晶表示窓にはその縫い目の振り幅が表示されます。



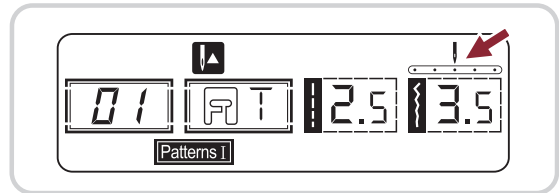
各部の操作とはたらき

※ 模様1~4,01を選択しているときには、このボタンを押して針の左右の位置を変えることができます。

「-」ボタンを押すと今選んでいる針位置より左に移動し「+」ボタンを押すと今選んでいる針位置より右に移動します。

針の位置は左(0.0)~右(7.0)の範囲で変えることができます。

初期設定では針穴の中心にセットされ、液晶表示窓には3.5と表示されます。

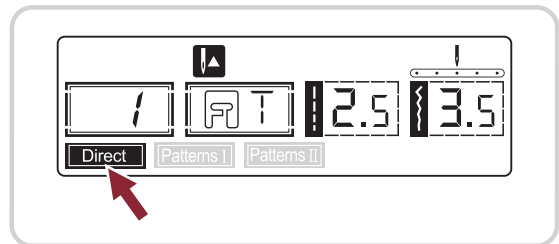


⑪ モード切替ボタン

ダイレクト模様、一般模様、文字の3つのモードを切りかえるときに使います。

「液晶表示窓」(P14)を参照してください。ミシンの電源を入れると、液晶表示窓にはダイレクト模様モードが表示されます。

"A"ボタンを押すと一般模様モードに、更に"A"ボタンを押すと文字モードとなります。そしてもう一度押すとダイレクト模様モードにもどります。

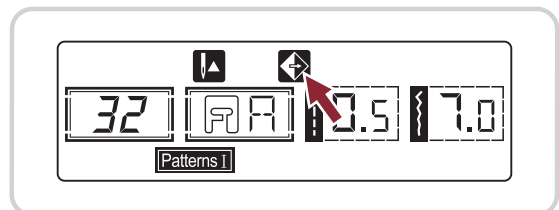


⑫ 反転記憶ボタン

模様一覧01~08, 22~58を選択しているときには、模様を選んでからボタンを押すと、選んだ模様を反転記憶します。

液晶表示窓には""が表示され、もう一度ボタンを押すと反転機能が解除され、液晶表示窓より、""が消えます。

模様を変えると、反転機能も一緒に解除され、変えた模様を反転させるためには、もう一度このボタンを押します。

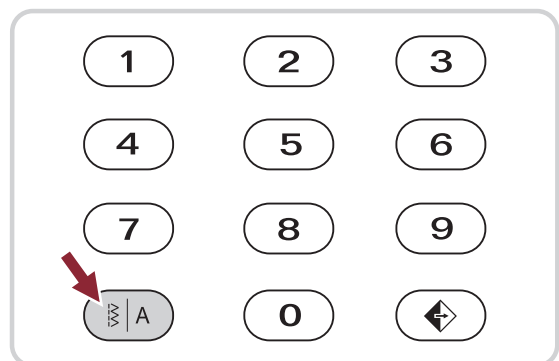


⑬ 模様選択ボタン

ダイレクト模様選択モードのときには右図に示される模様の番号ボタンを直接入力して模様を選びます。

その他のモードのときは模様の番号を番号ボタンで入力して縫いたい模様を選びます。

例：模様32 "3"と"2"を押す。



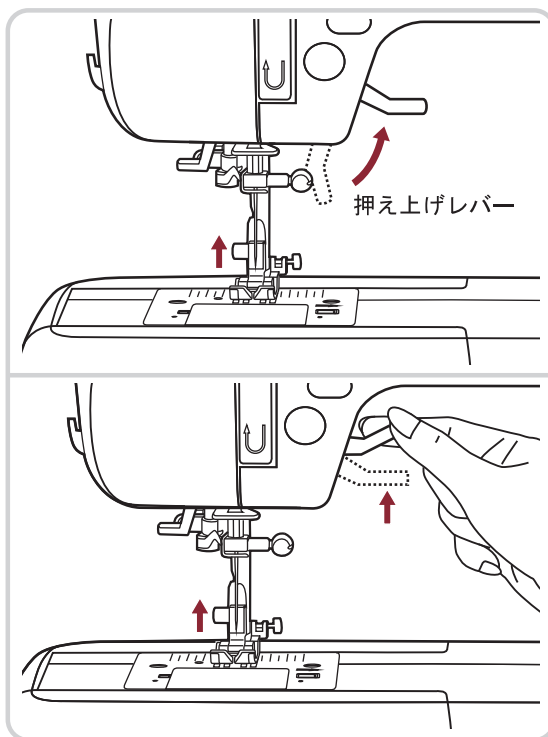
各部の操作とはたらき

⑭ 押え上げレバー

布を押えたり、布を引き出すときに押え上げレバーを使用して押えを図のように上げ下げします。

布を何枚か重ねて縫うときや、厚い布地を縫うとき、これらの布を押えの下に入れられるように、押えをさらに上にあげることができます。

手を離すとレバーは普通に上げた位置に戻ります。



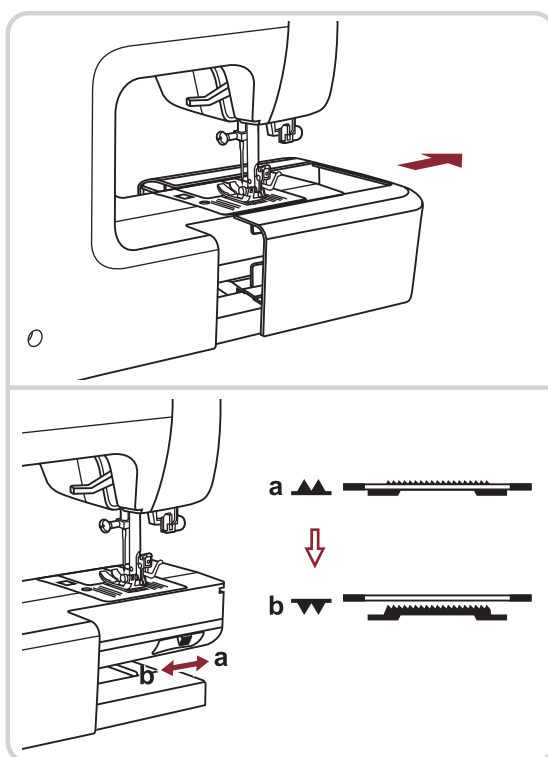
⑮ ドロップフィードレバー(送り歯の上げ下げ)

補助テーブルを矢印方向に引くと、本体の背面下部に送り歯を上げ下げできるドロップフィードレバーがあります。

針を上にした状態で、レバーをスライドして "▼" (b) 位置にセットすると、送り歯が針板上面より沈みます。

又 "▲" (a) 位置にセットすると、送り歯が針板上面より出てきます。

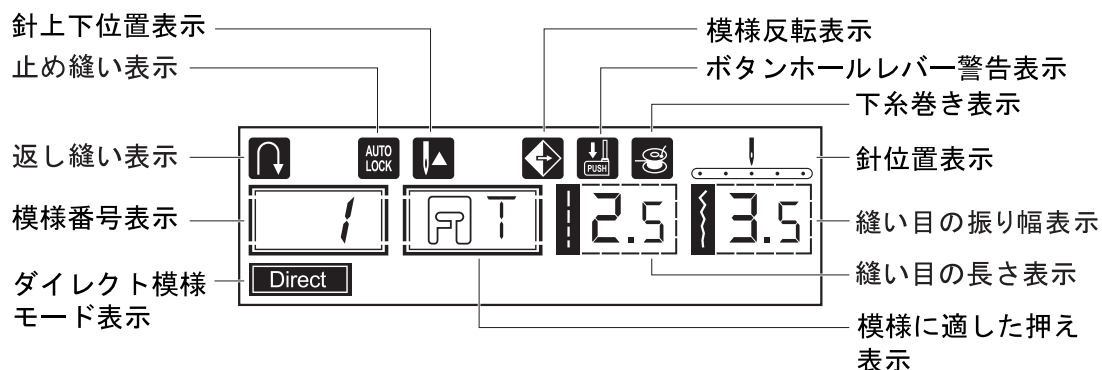
(a) 位置にしても送り歯が出てこない場合ははずみ車を手前に回すと出てきます。



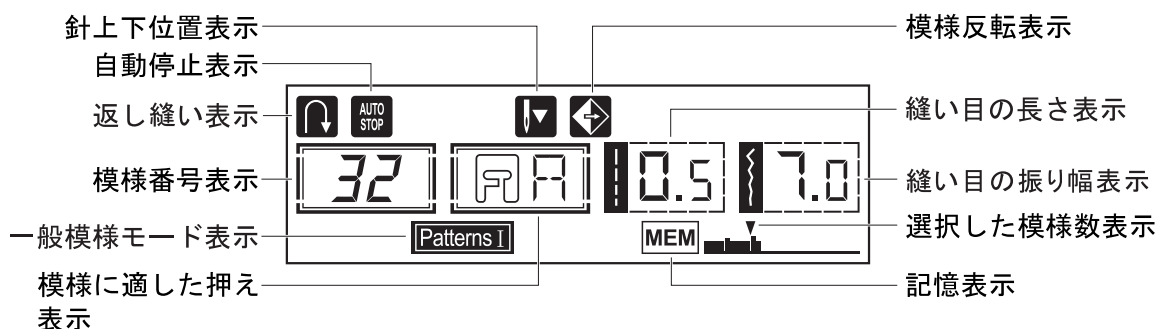
液晶表示窓

表示されるモードは三つに分類されています。

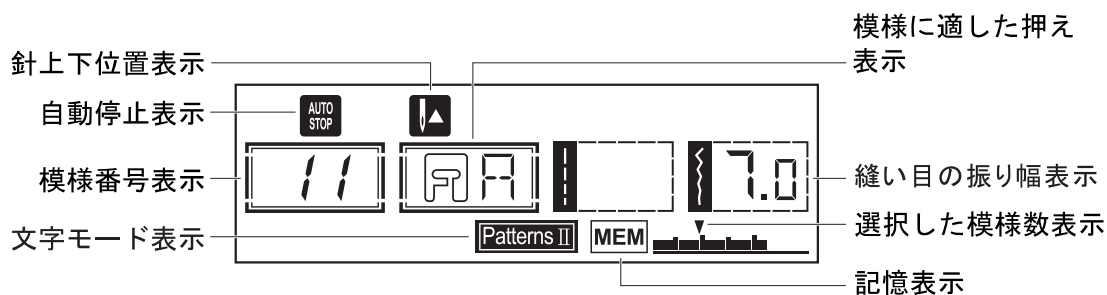
●ダイレクト模様モード



●一般模様モード



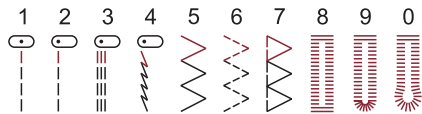
●文字モード



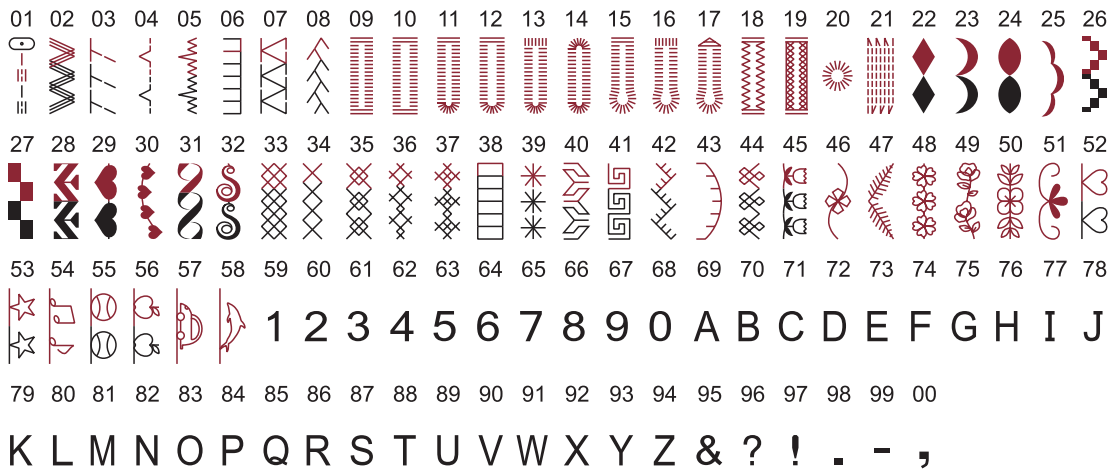
縫い模様一覧

三つの各モードで下に示す模様を選んで縫うことができます。

●ダイレクト模様モード



●一般模様モード (Patterns I)



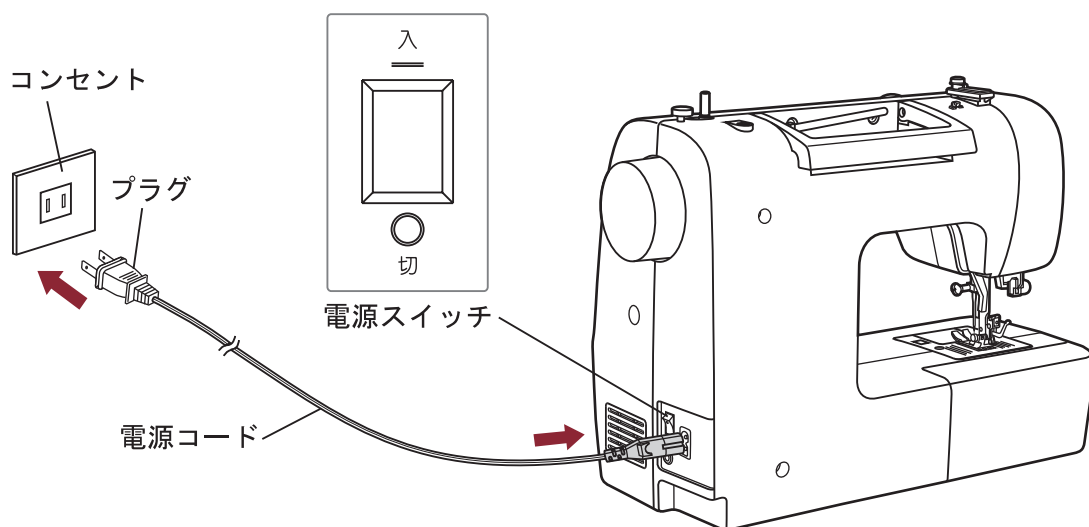
●文字モード (Patterns II)



電源のつなぎ方

！ 警告： 感電、火災を防ぐために
電源は必ずプラグを持って抜き差ししてください。

！ 注意： ケガ防止のために
○ 使用中に糸がからんだり、ミシンが止まった場合には電源スイッチを「切」にしてください。
○ ミシンを使用しないとき、ミシンから離れるときは、電源コードを外してください。



●電源を入れます

- ・ 電源プラグを家庭用電源コンセント (AC100V) に差し込みます。
- ・ 電源スイッチを「入」にします。
電源が入り、ランプが点灯し、液晶表示窓に模様 1 直線が表示されます。

●電源を切ります

ミシンを使い終わったら、電源を切ります。また、ミシンを移動するときは、必ず電源を切ってから移動してください。

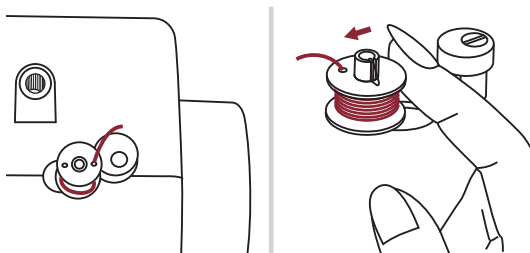
- ・ ミシンが止まっていることを確認します。
- ・ 電源スイッチを「切」にします。電源が切れ、ランプが消えます。
- ・ 電源プラグを持ってコンセントから抜きます。

警告機能

● 警告音

下糸巻き

下糸巻きが終わったまま、又は糸巻き軸が右側に押されたままで、スタート・ストップボタン以外のボタンを押すと、糸巻き軸が左側に押されるまで、ピッピッピッと3回警告音が鳴ります。



注意：ケガ防止のために

縫っている途中で、糸コマにからむなどミシンがロックすると、警告音がして自動的に止まります。必ず電源を切ってください。トラブルを取り除いたあと、電源を入れて再びお使いください。

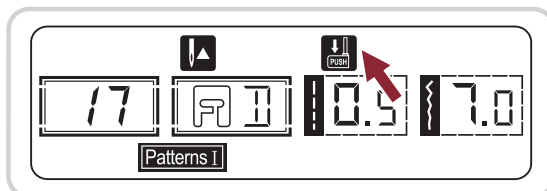
電子音

- ・正しく機能しているとき、「ピッ」と一回鳴ります。
- ・記憶容量が30模様いっぱいになったとき「ピッピッ」と二回鳴ります。
- ・機能がおかしいとき、「ピッピッピッ」と三回鳴ります。
- ・ミシンがトラブルを起こし、縫えないとき「ピッピッピッ」と三回鳴ります。

● 警告表示

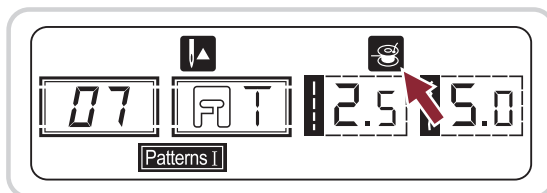
ボタンホールレバー

ボタンホールレバーが上がった状態で、ボタンホールやつくろい縫いが選ばれているとき、「ボタンホールレバーを下げてください」という「」が液晶表示窓に表示されます。



下糸巻き

下糸を巻いているとき、「下糸を巻いています」という「」が液晶表示窓に表示されます。



針を取り替えるには

針は、布地や糸に合わせて選びます。20ページの「布地に適した針と糸の選び方」を参照してください。

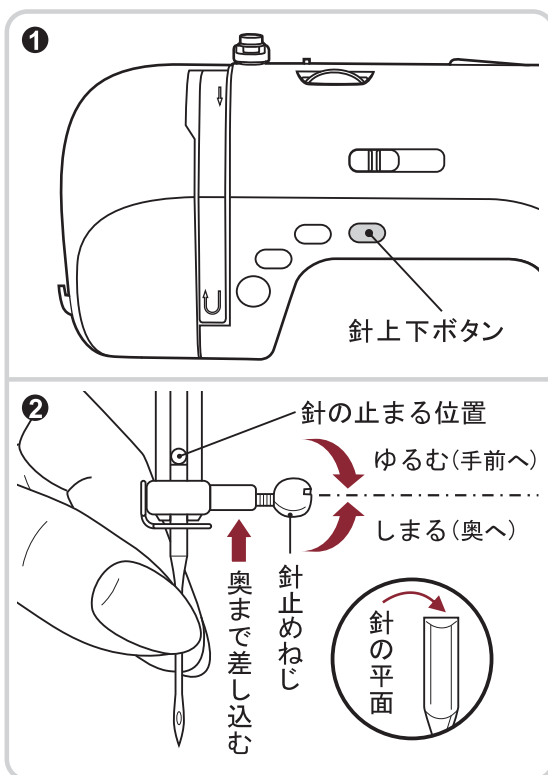


注意：ケガ防止のために

- 曲がった針や先のつぶれた針は、危険ですので、ご使用にならないでください。
- 必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
- 針は必ず家庭用ミシン針 (HA×1) をご使用ください。

- ① 針上下ボタンを 1 回または 2 回押し、針を一番上に上げます。

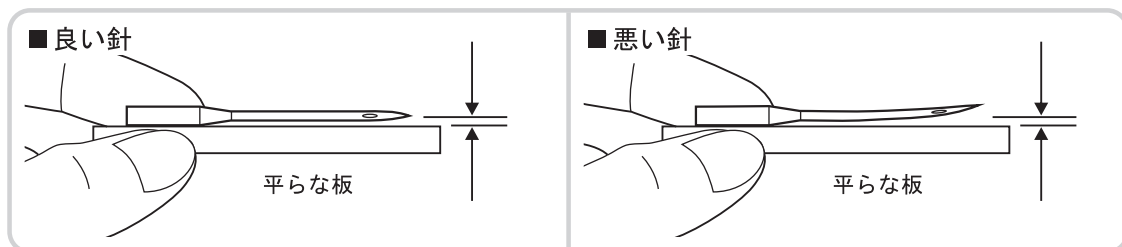
電源を切ります。押え上げレバーを下にさげます。



- ② 針止めねじを手前に回しゆるめ、針を下に引き抜きます。

新しい針の裏面(平らな面)を向こう側(押え棒側)に向け、針の止まる位置まで深く差し込んで、針止めねじをドライバーで締めつけます。

取り付け前には、針板など平らなものにのせ、のぞいてみて確かめてください。



押えを取り替えるには



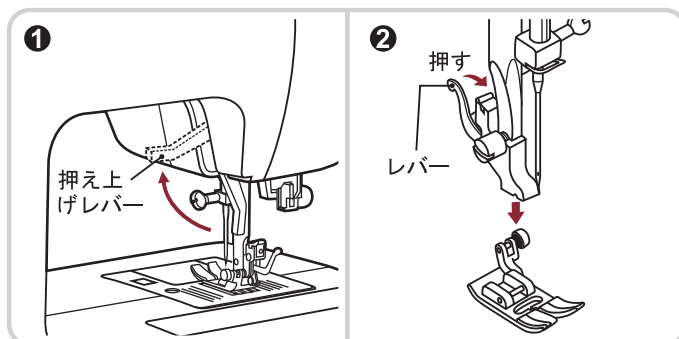
注意：ケガ防止のために

○ 模様に適した押えを使用してください。誤った押えを使用すると、針が押えに当たったり、曲ったりして、危険です。

○ 必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

● 取り外します

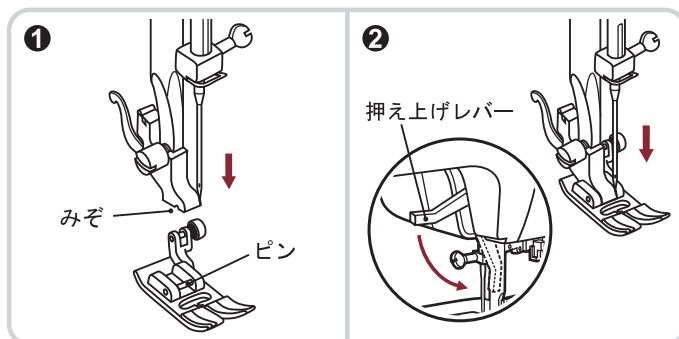
- ① 針上下ボタンを 1 回または 2 回押し針を上へ上げます。
押え上げレバーをあげます。
- ② 電源を切ります、指先で押えホルダーのレバーを手前へ押すと押えがはずれます。



● 取り付けます

- ① 交換したい押えのピンの部分を押えホルダーのみぞの真下におきます。
- ② しずかに押え上げレバーを下げてピンをみぞに入れます。

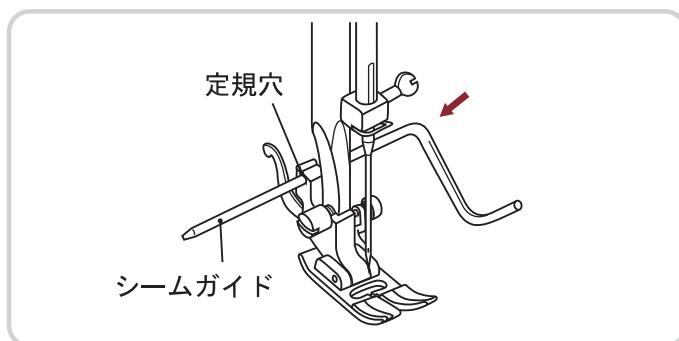
※ どの押えも、この要領で取りはずし、またセットできます。



● シームガイドのつけ方

シームガイドは押えホルダーの定規穴に、図のように差し込みます。

※ シームガイドはしるしの線や前に縫ったステッチに平行に縫う時に使うと便利です。



布地に適した針と糸の選び方

ミシン針は布地や糸の太さによって使い分けます。この表を目安に、布地にあった針と糸を選び、試し縫いをして確かめてください。

布地の種類		糸の番号	針の番号
薄地	薄地ジョーゼット、オーガ ンジー、ボイル、絹布など。	綿 80～100 絹 60～80 シャッペスパン系 90	9～11 番
普通地	ギンガム、リンネル、さら さ木綿、サテン、薄手コー デュロイ、別珍、一般服地 など。	綿 50～80 絹 50 シャッペスパン系 60	11～14 番
厚地	ギャバジン、ツイード、デ ニム、キルティング、コー デュロイ、ジーンズなど。	綿 40～50 絹 50 シャッペスパン系 60	14～16 番
伸縮性の布地	ダブルニット、トリコット、 スパンデックス、ジャージ など。	化繊系 50～80 絹 60 ニット用系	11～14 番 ニット用針

- ・糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きいほど太くなります。
- ・ニット用針は伸縮性のある布地や目がとびやすい布地に使用します。
- ・購入時は、14 番の針がミシンに取り付けられています。

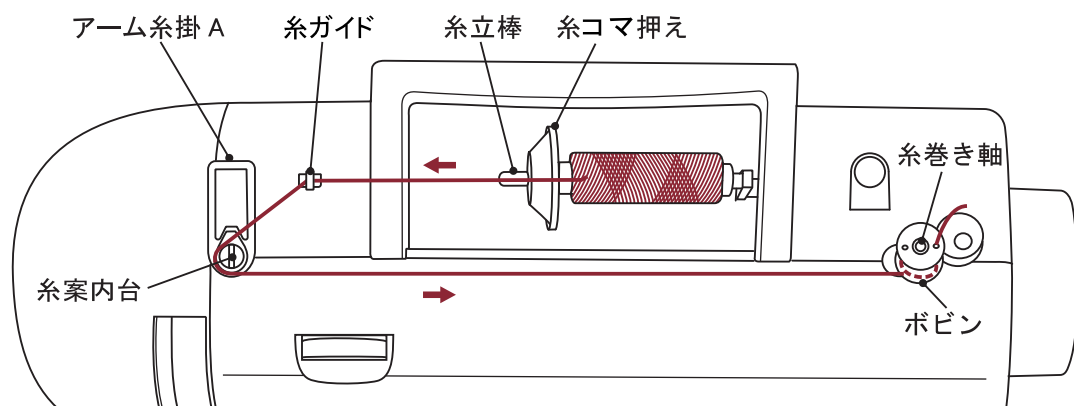
下糸をセットしましょう

下糸用の糸をボビンに巻いてから、ミシンにセットします。



注意：ケガ防止のために

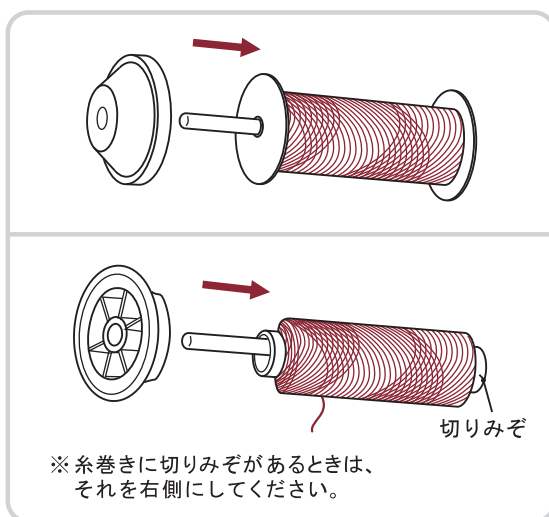
- 糸コマの向きや糸コマ押えが正しくセットされていないと、糸立棒に糸がからまり、針折れの原因となります。
- ボビンをとりだすときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



● 糸コマをセットします

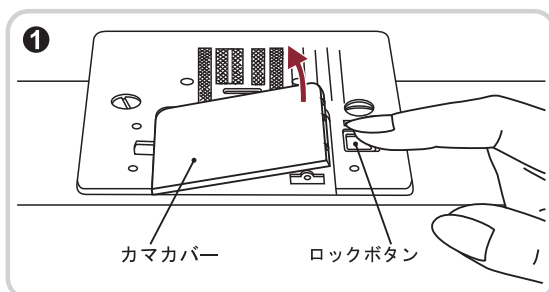
糸立棒を軽くおこし、下側から手前に糸が出る向きにして下糸用の糸コマを入れ、糸コマ押えで糸コマを押えます。

※小さい糸を使用するときは、糸コマ押えを右図下のように取り付け、糸コマから少し離してセットします。



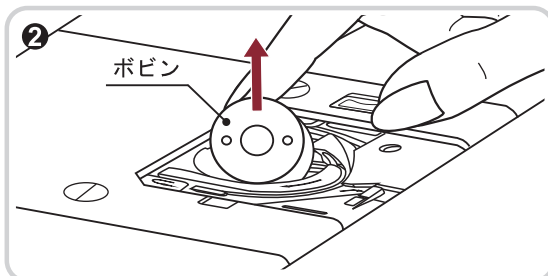
● ボビンを取り出します

- ① かまカバーの右側にあるロックボタンを右に動かします。



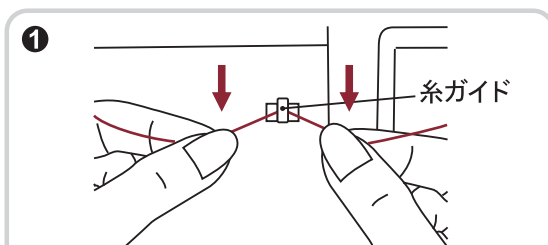
下糸をセットしましょう

- ② かまカバーを外し、ボビンをとりだします。

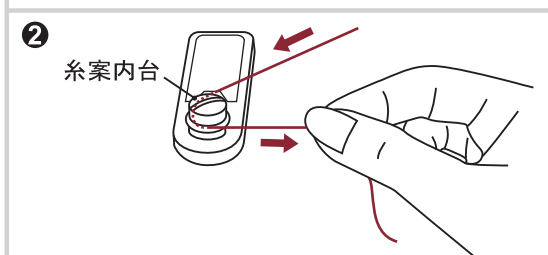


● 下糸を巻きます

- ① 糸こまから糸を引き出し、糸ガイドの後ろから手前に糸をかけます。

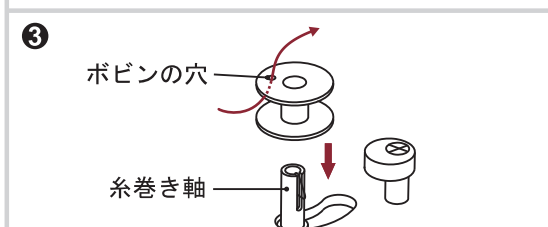


- ② 糸案内台の皿の間に糸がしっかり入るように左回りに糸をかけます。

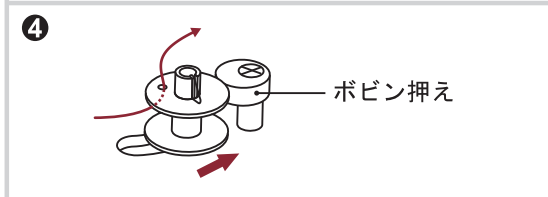


- ③ 糸案内台にかけた糸を引き出し、ボビンの穴に内から外に通します。

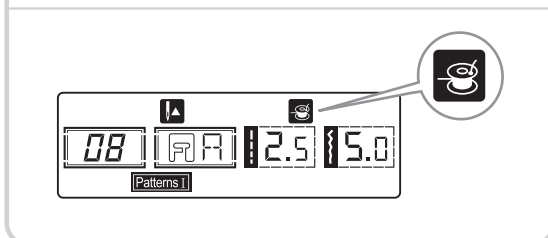
ボビンのミゾと下糸巻軸バネの位置を合わせて、ボビンを糸巻き軸に差し込みます。



- ④ 軸にセットしたボビンを右側に押します。



※ ボビンを右側に押したとき、液晶表示画面に糸巻き表示 "🌀" が表示されます。左側に戻すと糸巻き表示が消えます。



下糸をセットしましょう

- ⑤ スピード調整レバーで糸を巻くスピードを調節します。

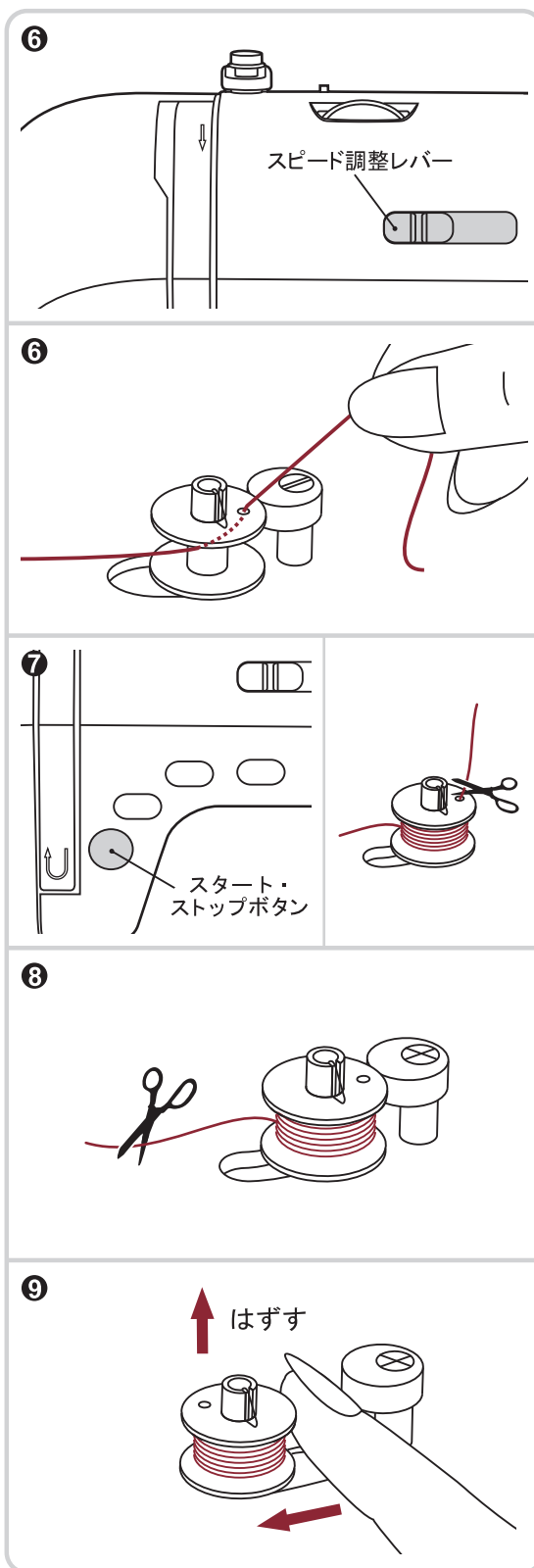
- ⑥ ボビンに通した糸端を持ったまま、スタート・ストップボタンを押して巻き始めます。

- ⑦ いったん止めて糸はしを切り、もう一度スタートします。

- ⑧ 巻き終わるとボビンの回転は、ゆるやかになります。スタート・ストップボタンを押してミシンを止め、巻き終わりの糸を切ります。

ボビンに少量巻きたい時は、スタート・ストップボタンを押してご希望の巻き量で止めてください。

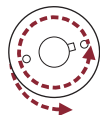
- ⑨ 糸巻き軸を左側に戻してからボビンをはずします。



下糸をセットしましょう

● ボビンを内がまにセットします

- ① かまカバーをはずし、糸の端を出してかまの中にボビンが左回りになるように入れます。



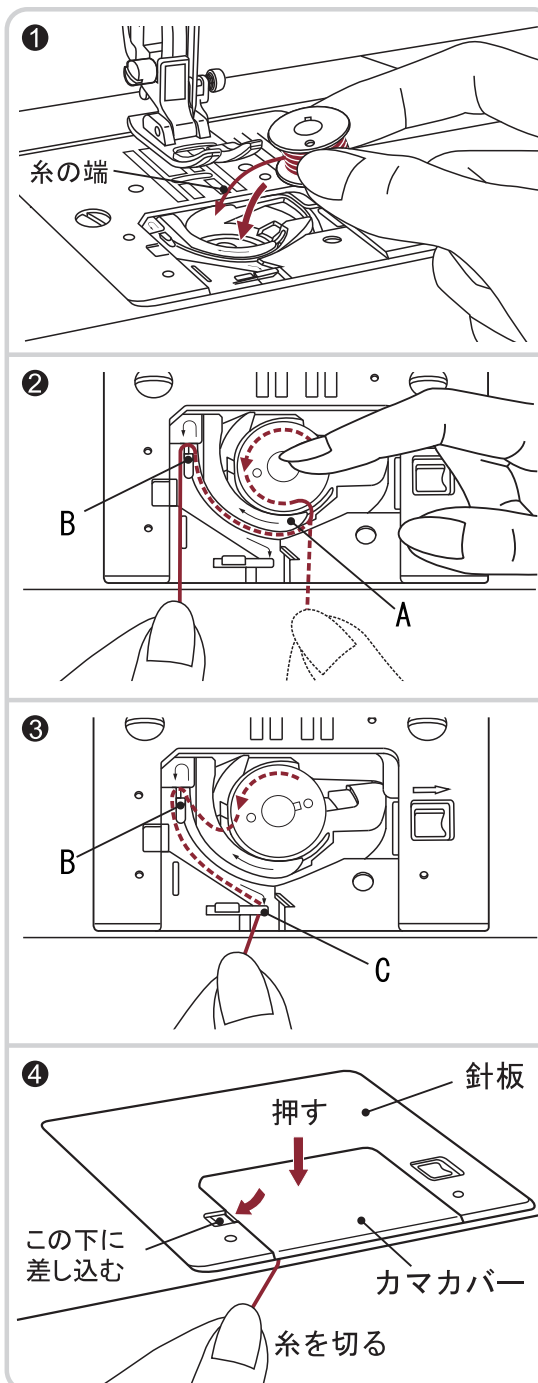
糸の方向

- ② ボビンを指で押え、糸を図のように矢印方向に引いて、(A)のつもの下にあるスリットを通して、(B)の位置までキュッとしっかりひっぱります。

※下糸がしっかり入っていない場合、布の上の縫い目がつったように一本線になることがあります。

- ③ 糸を図に示す矢印のように、(B)の位置から(C)まで引いて、余分な糸を(C)の部分にかけ、かまカバーを固定します。④参照

- ④ かまカバー左の突起部分を針板の下へ差し込み、右側を押さえ、カバーを閉じます。かまカバーを固定した後に手前に出ている糸を左に引くと糸が切れ、セット完了です。(下糸を引き上げる必要はありません。)



注意：ケガ防止のために

ミシンを作動する際は必ずかまカバーを閉めてください。

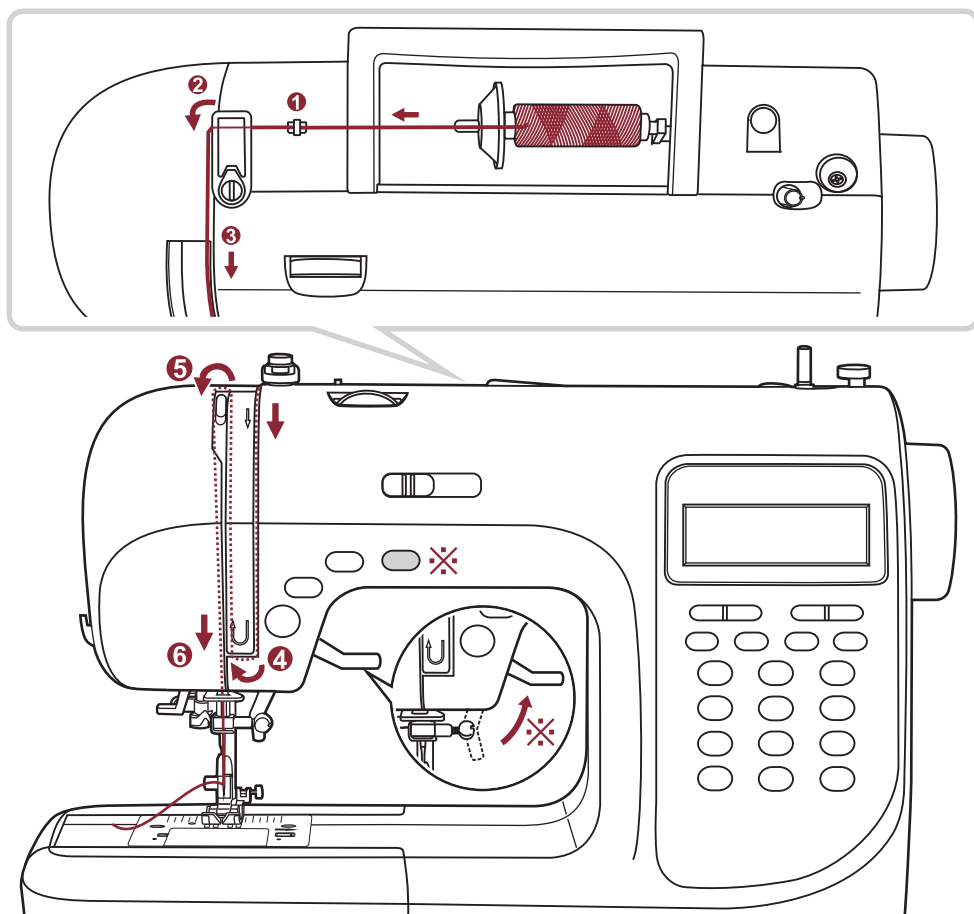
上糸を通しましょう



注意：ケガ防止のために

○ 糸コマの向きや糸コマ押えが正しくセットされていないと、糸立棒に糸がからまり、針折れの原因となります。

○ 必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



● 上糸を掛けます

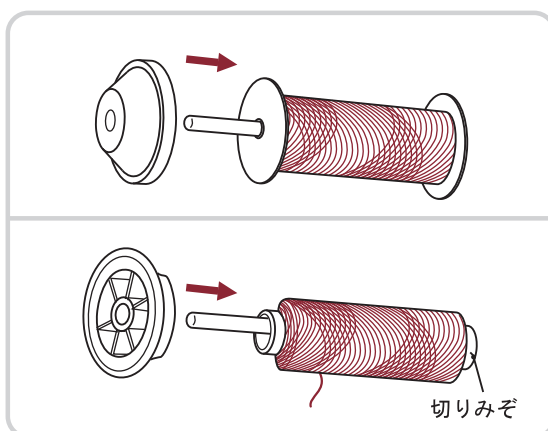
※ 押え上げレバーを上になげます。

※ 必ず押え上げレバーを上げてください。
レバーを下けたまま上糸のセットを行うと布地の裏や釜に沢山糸が出て絡むことがあります。

※ 針上下ボタンを 1 回又は 2 回押して針を上にあげます。

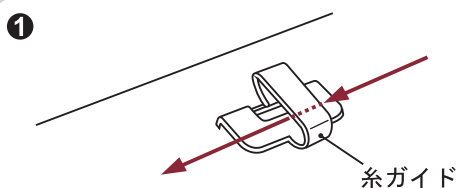
※ 糸立棒を軽くおこし、糸コマを入れ、糸コマ押えで糸コマを押えます。
小さな糸は糸コマ押えを右図下のように取り付けます。

糸コマに切りみぞがあるときは、それを右側にしてください。

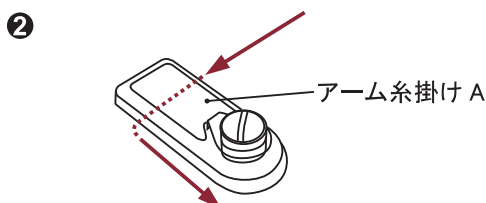


上糸を通しましょう

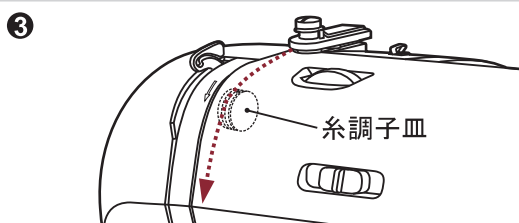
① 糸コマから糸を引き出し、糸ガイドの後ろから手前に糸を通します。



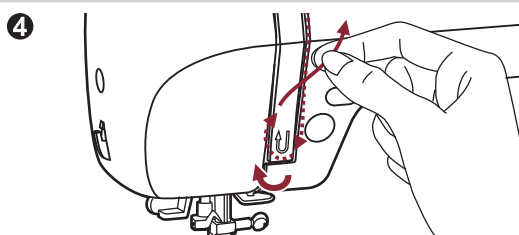
② 通した糸をさらに引き出し、アーム糸掛け A の後から糸を掛けます。



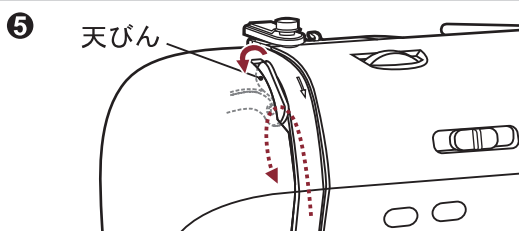
③ アーム糸掛け A に掛けた糸を両手で持ってピンと張った状態でまっすぐ手前に引き、溝の中に入れて上糸調節の所から溝に沿って下に引いていきます。



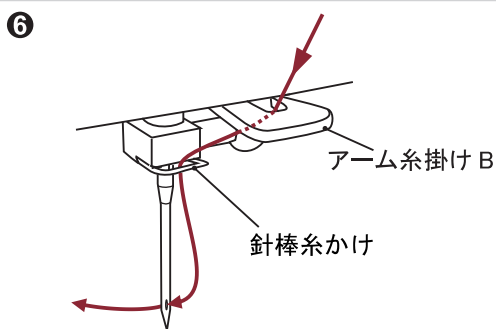
④ 溝の終わりから左側の溝にそって上に引き上げていきます。



⑤ 天びんに、右から後ろへ回して、左手前に引き穴の奥までかけます。



⑥ アーム糸掛け B に糸は右側から掛け、続いて針棒糸かけに、右から糸をかけ、針に前から後ろに通します。



針穴に糸を通す糸通しレバーの使い方は次のページを参照してください。

上糸を通しましょう

● 糸通しの使い方



注意：ケガ防止のために

○ 糸通し使用中は、はずみ車を手で回さないで下さい。

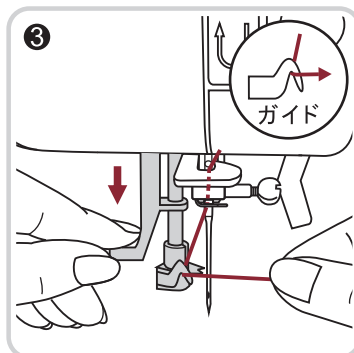
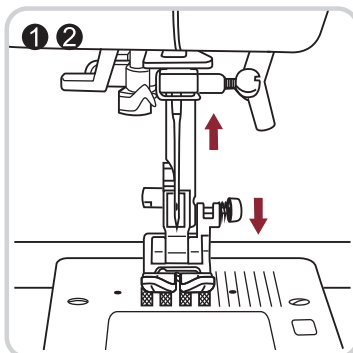
○ ミシンが動いているときは糸通しレバーに手を触れないでください。
糸通しレバーがこわれるだけでなく、針が折れ、ケガのもとになります。

① 押えを下げます。

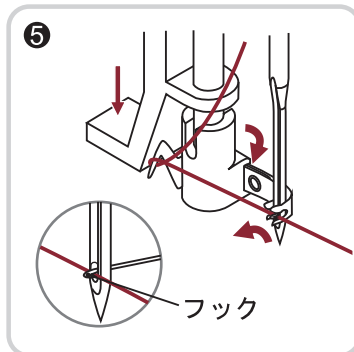
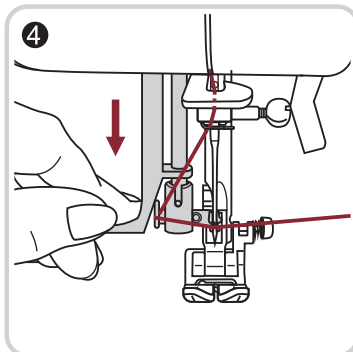
② 針上下ボタンで針を上
に上げます。

※ 針は11番、14番、16番
が使えます。

※ 糸通しレバーは針上下
ボタンを押して必ず針
が上で停止している状
態で使用してください。



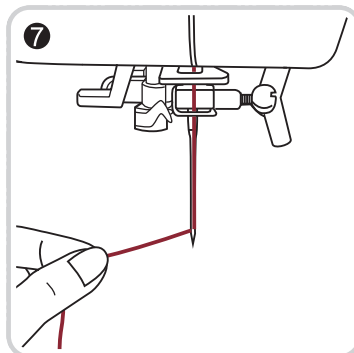
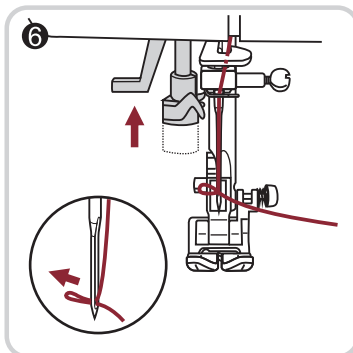
③ 糸通しレバーをかるく
下げ、糸を糸通しのガ
イドにかけて、右にひ
いてきます。



④ レバーをいっぱい到下
げます。

※ 糸通しが回転し、フッ
クが針穴に通ります。

⑤ フックの下に糸をかけ
ます。



⑥ 糸をかるく持ってレ
バーを離します。

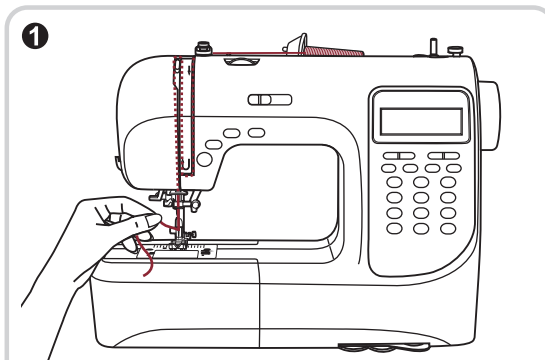
※ フックが戻り、糸が
輪になって針穴を通
ります。

⑦ 糸端を針穴から 10cm
くらい引き出しておき
ます。

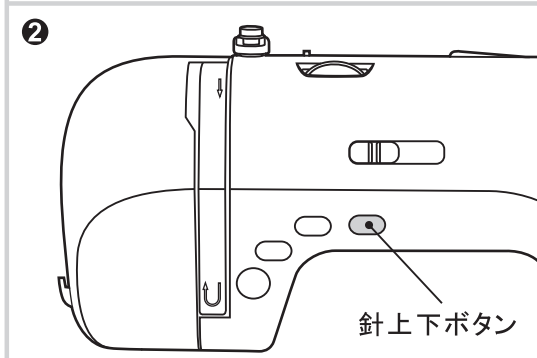
用途によって、下糸を引き上げ使用する際は次のように行ないます

● 下糸を引きあげます

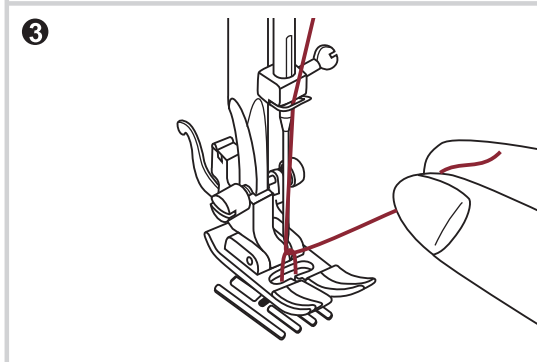
① 押え上げレバーを上へ上げ針に通した糸を左手で持ちます。



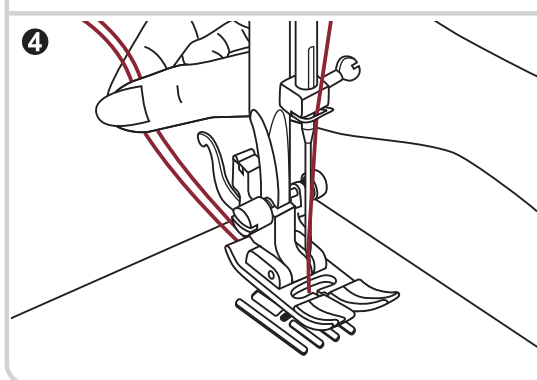
② 針上下ボタンを2回押し、針を上へ上げます。



③ 上糸を軽く引き上げると下糸が引き出されます。



④ 上糸と下糸をそろえて押えの下から後ろに10 cmほど出しておきます。



糸調子の合わせ方

- ① 通常、上糸調節ダイヤルを「標準」に合わせてると正しい糸調子になるように調節されています。

布や糸によって、糸調子がうまく取れない場合や、ギャザー寄せなどをするときは、右図のように上糸調節ダイヤルを回して、調節してください。

- ② 右図のように、上糸と下糸が布の中間で交差して、かつ、布や糸がつれたり、たるんだりしていないのが正常です。

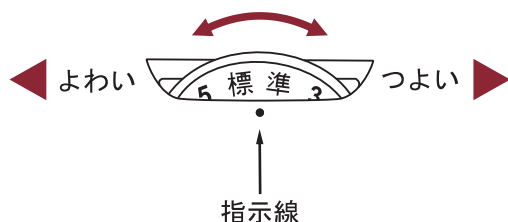
- ③ 左の方向(◀よわい)に回すと上糸調子は弱くなります。

このような場合下糸が正しくセットされていない場合があります。

24ページをごらんの上、正しくセットしてください。

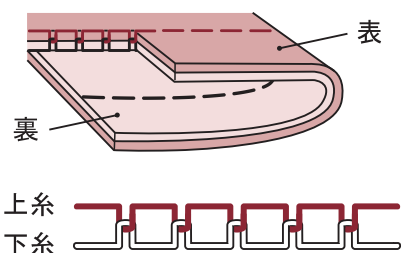
- ④ 右の方向(▶つよい)に回すと上糸調子は強くなります。

①



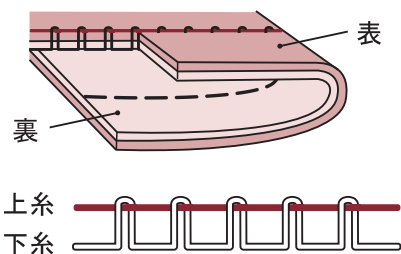
● 上糸調節ダイヤル

②



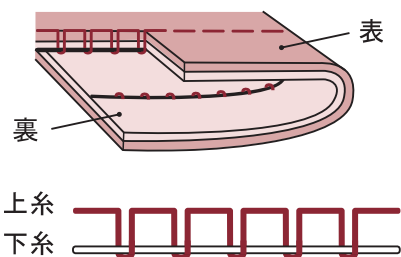
● 正しく調節されている場合

③



● 上糸が強い場合

④



● 上糸が弱い場合

基本縫い（直線縫い及びジグザグ縫い）

基本となる直線縫い及びジグザグ縫いをします。

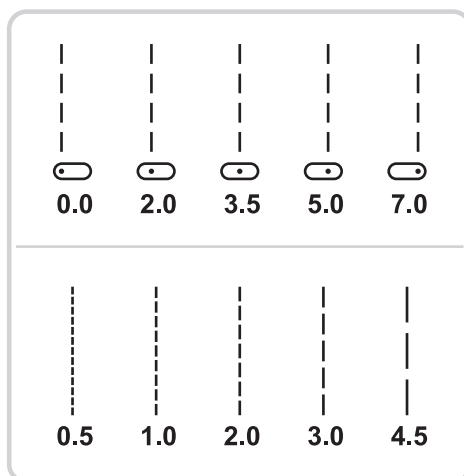
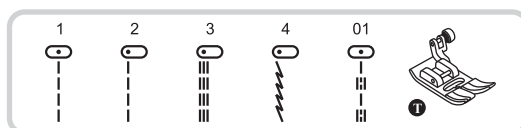
直線縫いは地縫い、ギャザー、ピンタックなど、ジグザグ縫いは、通常のほつれ止めなどに使用します。

● 直線縫い

- ・ 模様を選びます。
- ・ ジグザグ押え（T）を取り付けます。

針の左右方向位置を指定します。
模様 1~4, 01 を選んだときだけ、針の位置を変えることができます。振り幅ボタンの" $\ominus$ "ボタンを押すと今選んでいる針位置より左に移動し" $\oplus$ "ボタンを押すと今選んでいる針位置より右に移動します。針の位置は左（0.0）～右（7.0）の範囲で変更することができます。

- ・ 縫い目の長さを決めます。
" $\ominus$ " ボタンを押すと表示される数値が小さくなり、縫い目が細くなります。
" $\oplus$ " ボタンを押すと表示される数値が大きくなり、縫い目が粗くなります。



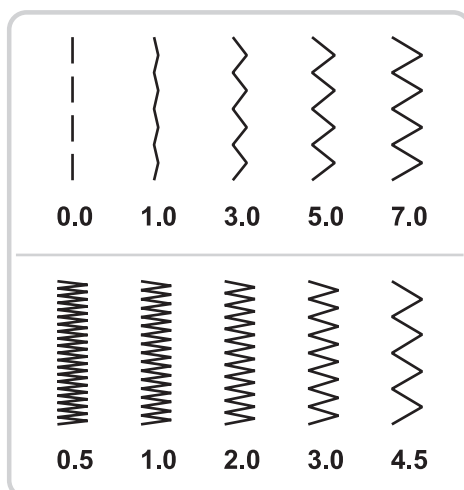
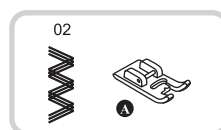
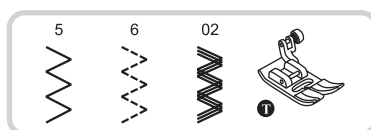
※最初は液晶表示窓に自動セットされた針位置（縫い目の幅表示 3.5）と適切な長さが表示されます。このまま縫う場合は変更する必要はありません。

● ジグザグ縫い

- ・ 模様を選びます。
- ・ ジグザグ押え（T）をとりつけます。模様 02 を選んだときはサテン押え（A）も使用できます。

縫い目の幅を決めます。
" $\ominus$ " ボタンを押すと表示される数値が小さくなり、縫い目の幅が狭くなります。
" $\oplus$ " ボタンを押すと表示される数値が大きくなり、縫い目の幅が広がります。

- ・ 縫い目の長さを決めます。
" $\ominus$ " ボタンを押すと表示される数値が小さくなり、縫い目が細くなります。
" $\oplus$ " ボタンを押すと表示される数値が大きくなり、縫い目が粗くなります。



基本縫い（直線縫い及びジグザグ縫い）

① 布地を押えの下におき、縫い始める位置で針上下ボタンを押し、針を刺してから押えをおろします。

② 縫い速度を設定します。

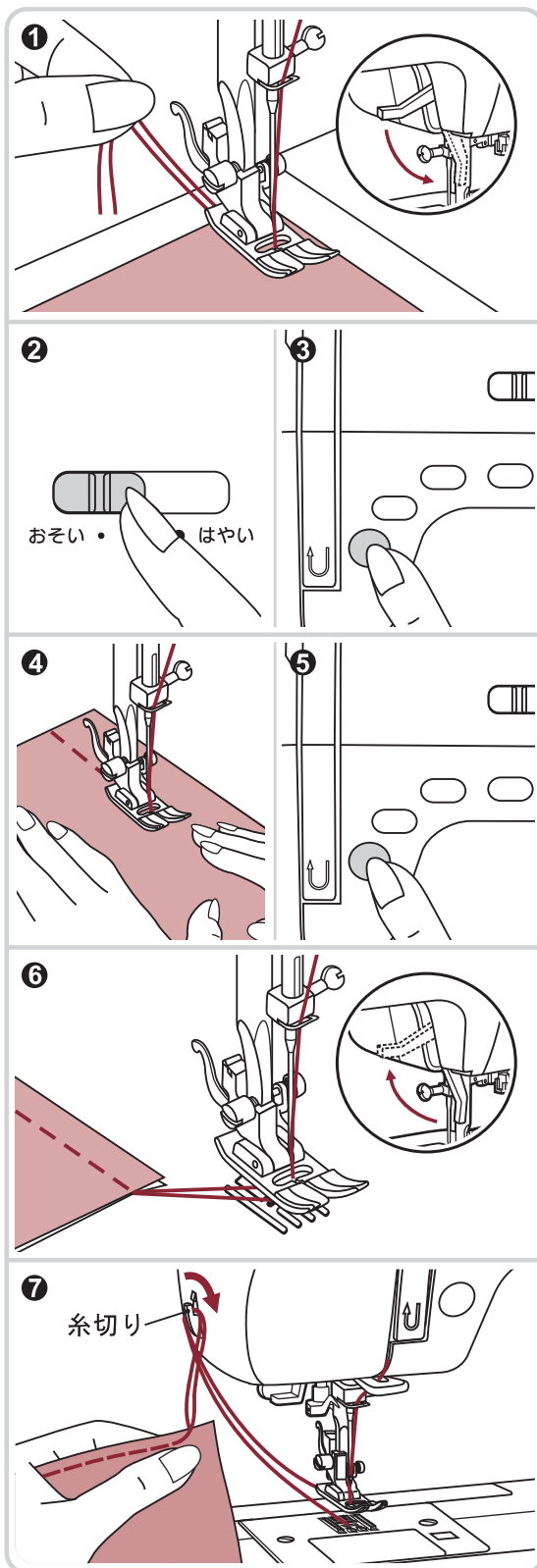
③ スタート・ストップボタンを押してスタートします。

④ 布地に軽く手をそえます。縫っている間は布地を無理に引っ張らないようにします。

⑤ スタート・ストップボタンを押してストップします。
針上下ボタンを押し、針を上げます。

⑥ 押えを上げ、布地を後ろへ引いて取り出します。

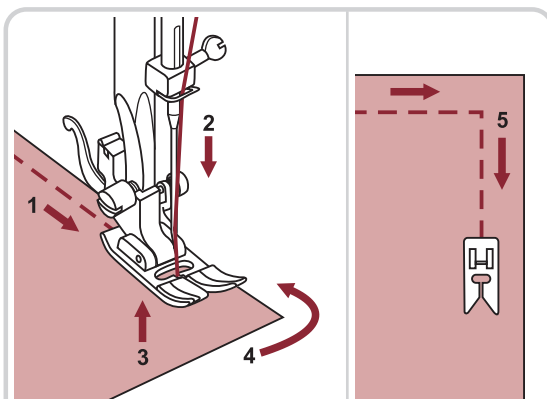
⑦ 面板糸切りに糸をかけて手前下に引くと糸が切れます。



基本縫い（直線縫い及びジグザグ縫い）

● 縫い方向をかえるには

- ① 布地の角まで来たら、ストップします。
- ② 針上下 ボタンを押し、針を下げ、布に刺します。
- ③ 押えを上げます。
- ④ 針を差したまま布地を回し、縫い方向にセットします。
- ⑤ 押えを下げて、縫い始めます。



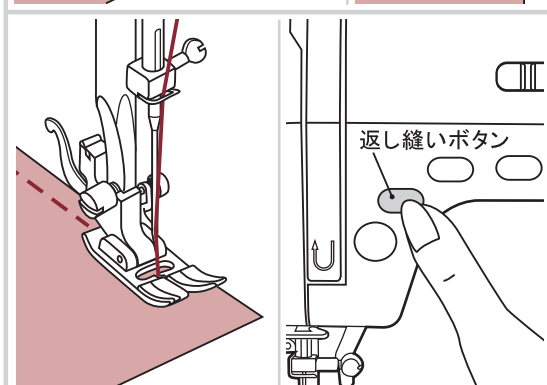
● 返し縫い

縫い始めや縫い終わりに 3～5 針返し縫いをしておくと、縫い目がほつれず、丈夫になります。

返し縫いボタンを押している間、返し縫いができます。手を離すとミシンは停止します。

縫い始めのほつれ止めに使う場合、縫う端から 3～5 針分手前に針を刺します。

※裁縫中ボタンを押している間返し縫いになり、はなすと前進縫いになります。

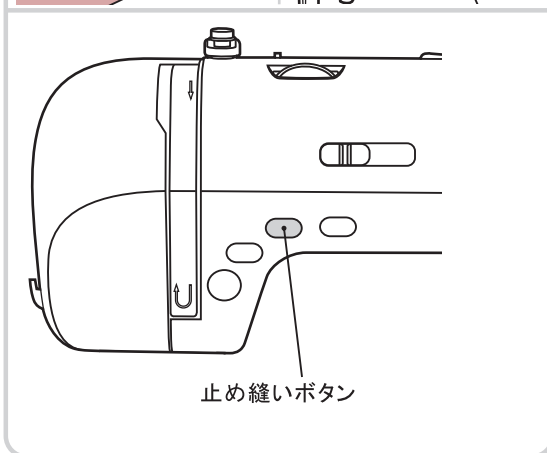


● 止め縫い

縫い終わりに自動で止め縫いをすることができます。

* 参照 (→P10)

- ① 模様を選びます。
- ② スタート・ストップボタンを押します。
- ③ 縫い終わりの位置で、止め縫いボタンを押すと、3 針の止め縫いをして自動的に止まります。

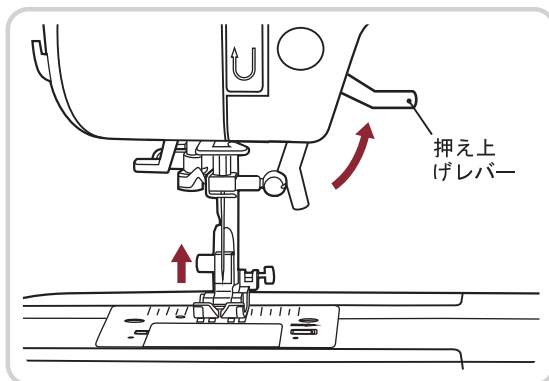


基本縫い（直線縫い及びジグザグ縫い）

● 厚地の縫い方

○ 厚い布を入れるとき

押え上げレバーを普通にあげた位置より上げると、押えはもう一段上に上がります。（手を離すと普通に上げた位置に戻ります）。

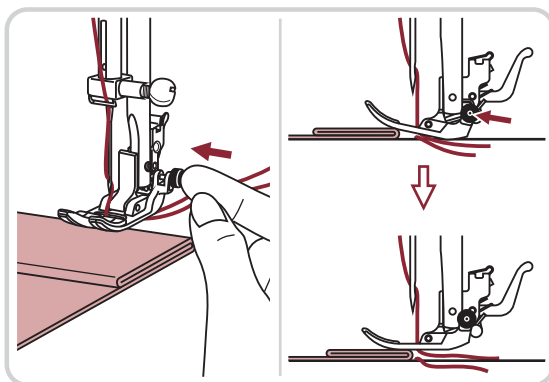


○ 厚地の布端の縫い始め

縫い始めの位置に針をさし、基本押えの黒ボタンを押し込みます。

ボタンを押したままで、押えを下げます。

ボタンから手を離し、縫い始めます。



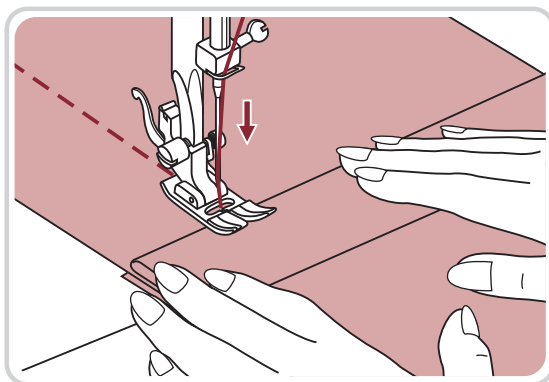
● 段縫い

布地が重なって、急に厚くなった部分で針を下にさし、押えを上げ基本押えの黒ボタンを押し込みます。

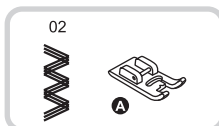
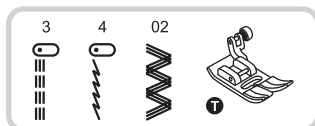
ボタンを押したままで、押えを下げます。

ボタンから手を離し、再び縫い始めます。

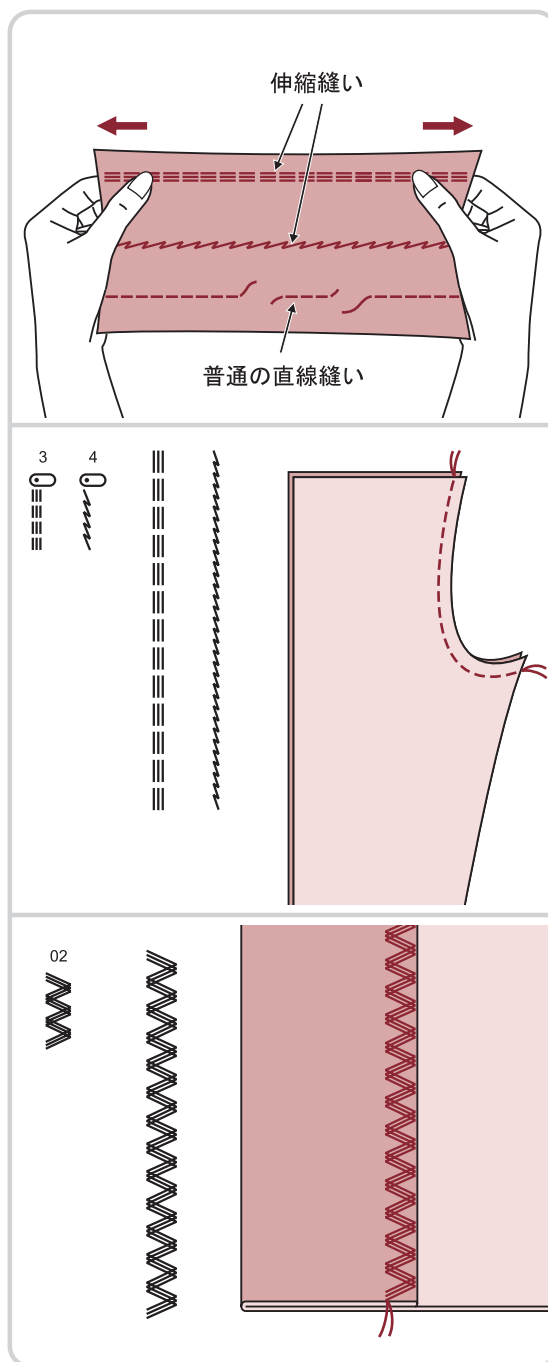
段縫いが終ると自動でボタンは解除されます。



伸縮縫い



この縫い目は伸縮性があるので、ニットやジャージなどの伸縮性のある布地の縫いに適しています。



- ・ **伸縮強化縫い 3** は直線の三重縫いです。

丈夫で伸縮性のある縫い目なので、力がかかってほつれやすい部分やデニムなどの丈夫な布地の縫い合わせに最適です。

- ・ **伸縮直線縫い 4** は、伸び縮みがきき、布地を伸ばしても縫い糸は切れません。いずれも、伸びる布の地縫いなどにお使い下さい。縫い方は直線縫いと同じです。

- ・ **三重ジグザグ縫い 02** デニムなど丈夫な布に最適です。

裁ち目がかり

裁断した布端がほつれないように縁かがりをします。

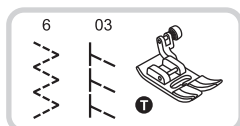


注意：ケガ防止のために

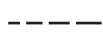
○ 押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

○ 縁かがり押えを使用するときは、振り幅を "5.0" より小さくして使用しますと針が折れ、危険です。

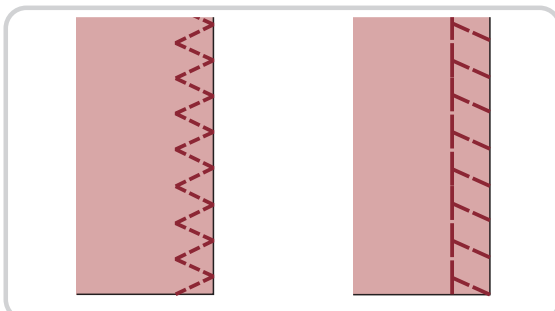
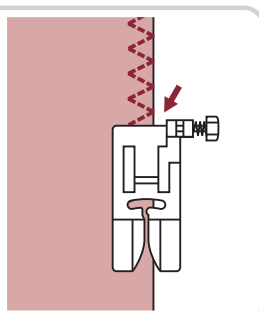
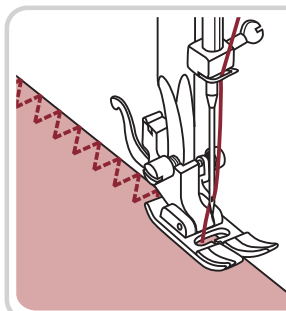
● ジグザグ押えを使用するとき



2.5~4.5



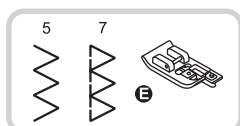
2.0~3.0



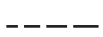
模様 6 は、ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに使用します。模様 03 はニット地のかがり縫いに利用します。

縫い代を少し余分にとって縫い、余分なところを縫い目の近くで切り落とします。

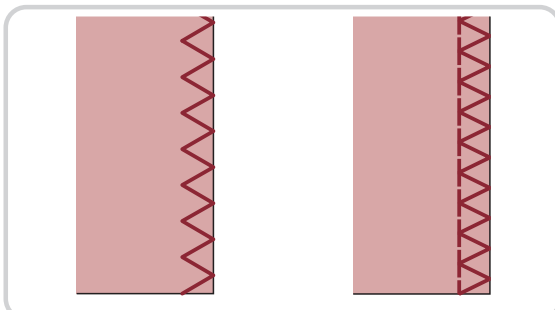
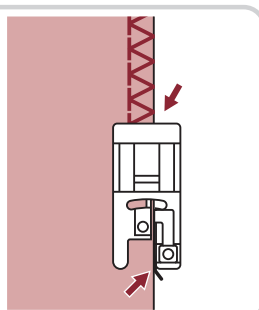
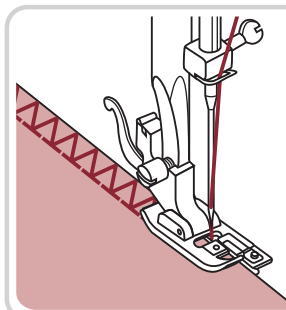
● 縁かがり押えを使用するとき



5.0~7.0



2.0~3.0



布端をガイドに合わせて縫います。糸調子は弱めで、上下糸が布端で交差するように調節しましょう。

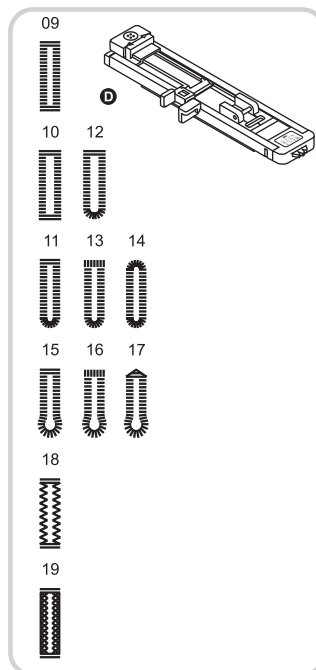
※縁かがり押えを使用するときは縫い目の幅を 5.0 以下で縫わないで下さい。

縫いの前に必ず、押えの針金に針が当たらないことを確認してください。

ボタンホール

ボタンホールは次の11種から選びます。

- 09. 薄地、普通地に。
- 10. 薄手ワイシャツ、中厚地向け。
- 11. 薄地、普通地のシャツ・ブラウスなど
横向きのボタンホールを作るときに。
- 12. 薄地、普通地に。
- 13. 厚地の横向きのボタンホールを作るときに。
- 14. 薄地、普通地に。
- 15. シャツやオーバーコートに。
- 16. 厚地のコートに。
- 17. ジーンズやズボンに。
- 18. ニットなどの伸縮性布地に。
- 19. その他伸縮性布地に。



2.5~7.0	0.3~1.0

3.0~7.0	0.3~1.0

2.5~5.5	0.3~1.0

5.5~7.0	0.3~1.0

3.0~7.0	1.0~2.0

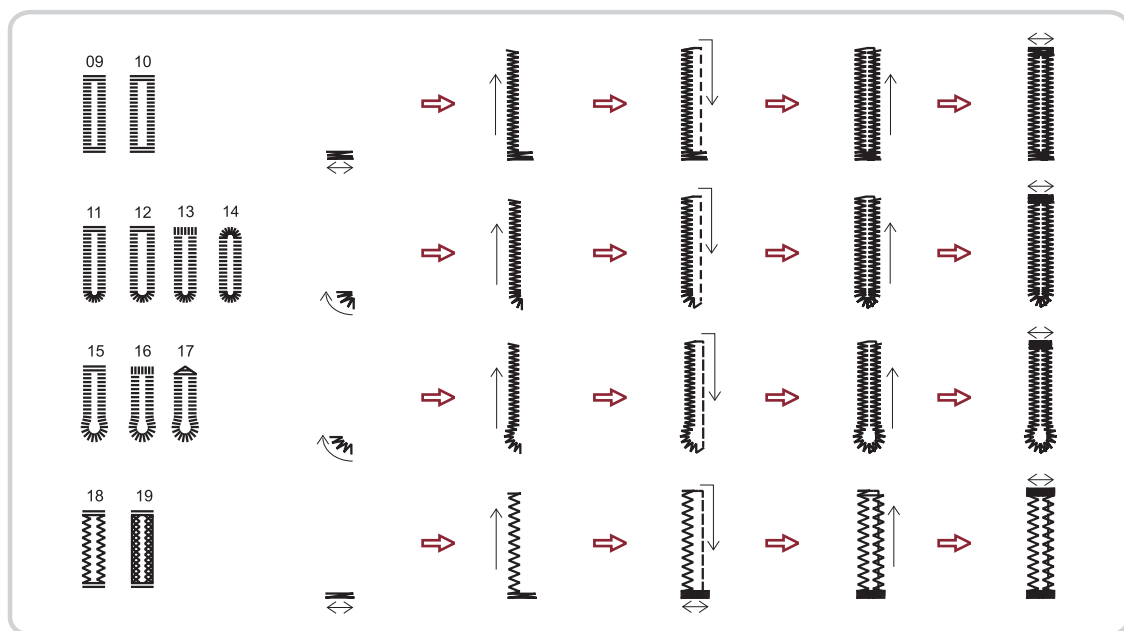
3.0~7.0	1.0~3.0



注意：ケガ防止のために

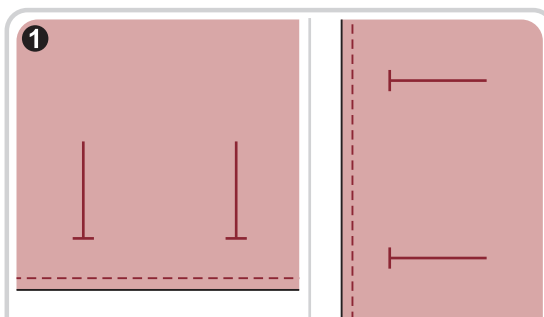
○ 押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

「ボタンの直径+厚み」で 3cm までのボタンホールができます。
縫うときは、必ず縫うものと同じ布地(残り布)で試し縫いをしてから縫ってください。
ボタンホールは次の順序で縫われます。

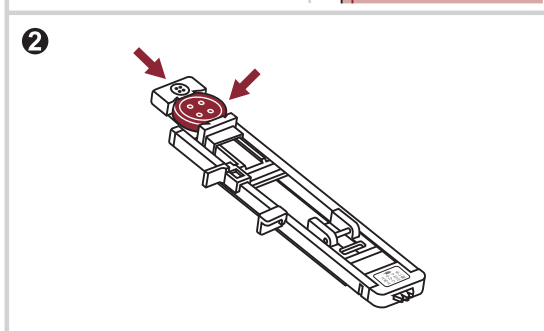


ボタンホール

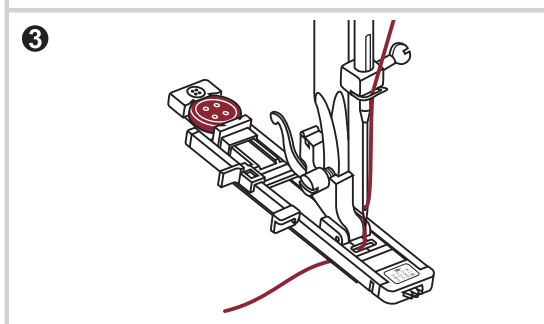
① ボタンホールをする位置にチャコペンなどでしるしを付けます。



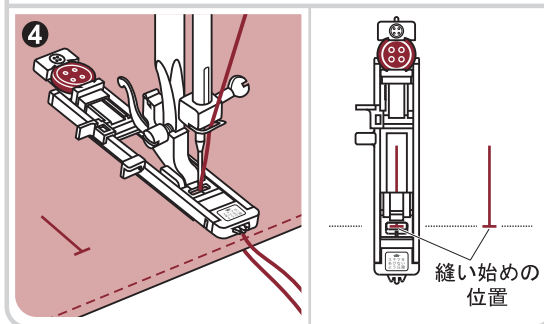
② ボタンホール押え (D) にボタンをのせてはさみます。



③ ボタンホール押えを取り付けます。

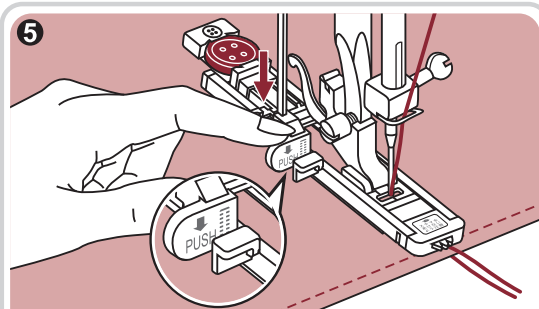


④ 布を入れ、縫い始めの位置に針をさして、押えをさげてください。そのとき、糸は押えの下に通し、手前にだしておいてください。



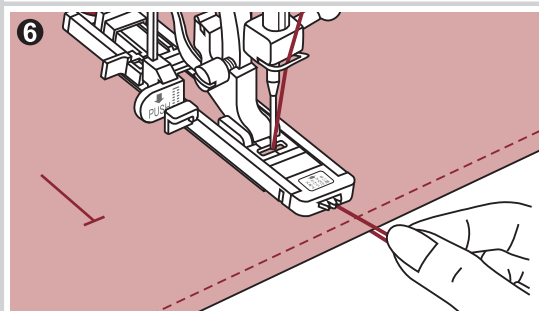
ボタンホール

- ⑤ ボタンホールレバーが止まるまで下げます。



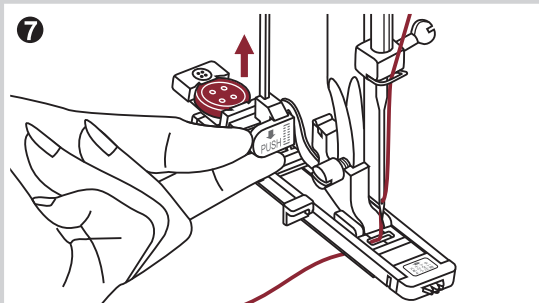
- ⑥ 左手で上糸を軽く持ち、ミシンをスタートさせます。

縫い終わると、自動的に止め縫いをして止まります。

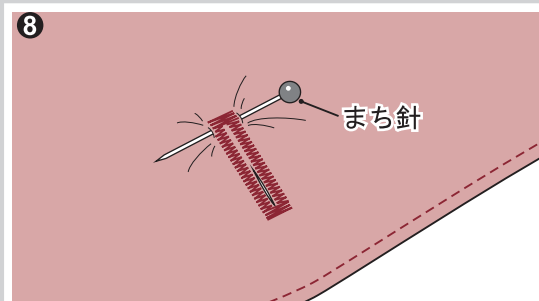


- ⑦ 押えを上げて布地を取り出し、糸を切ります。

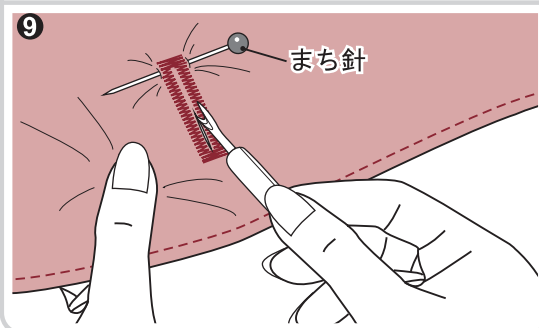
ボタンホールレバーをもとに戻します。



- ⑧ 縫った部分を切らないように、かんぬき止めの内側にまち針を刺します。



- ⑨ 付属のリッパーでボタンホールを切り開きます。



ボタンホール



注意：ケガ防止のために

○ リッパーで穴を開けるときの、リッパーの先方に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。

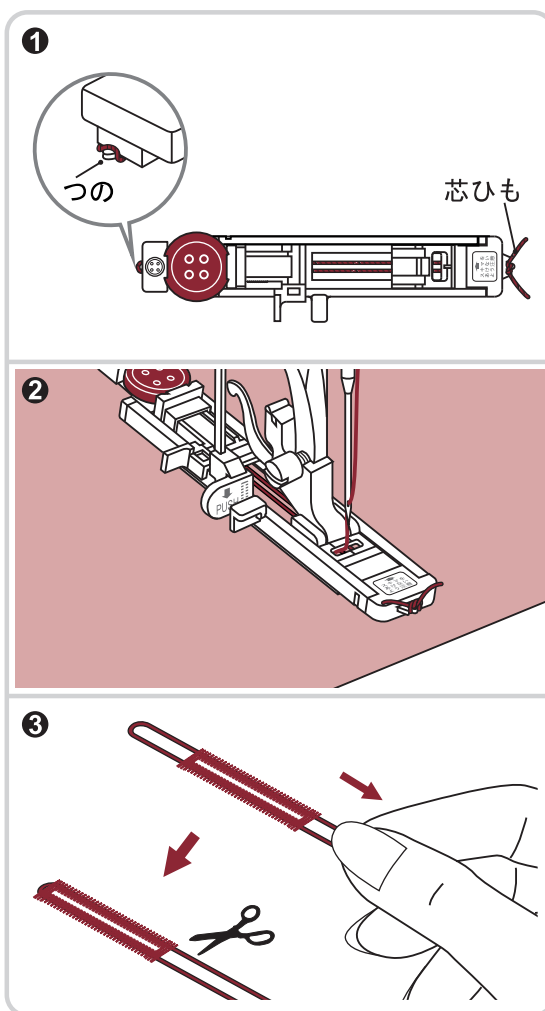
● 芯入りボタンホール

伸びる布地にボタンホールするときは、ボタンホールに芯ひもを入れてください。

① 芯糸の輪を押えの後ろ側にあるつのにかけ、押えの下から手前に平行になるように引き出し、前側の案内にはさみます。

② 通常のボタンホール手順と同じように縫います。

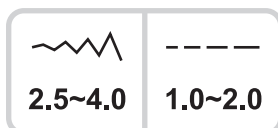
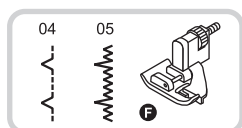
③ 左側の芯糸を引いて、たるみをなくし余分な糸を切ります。



まつり縫い

布地の表面に目立たない縫い目を作る縫い方です。

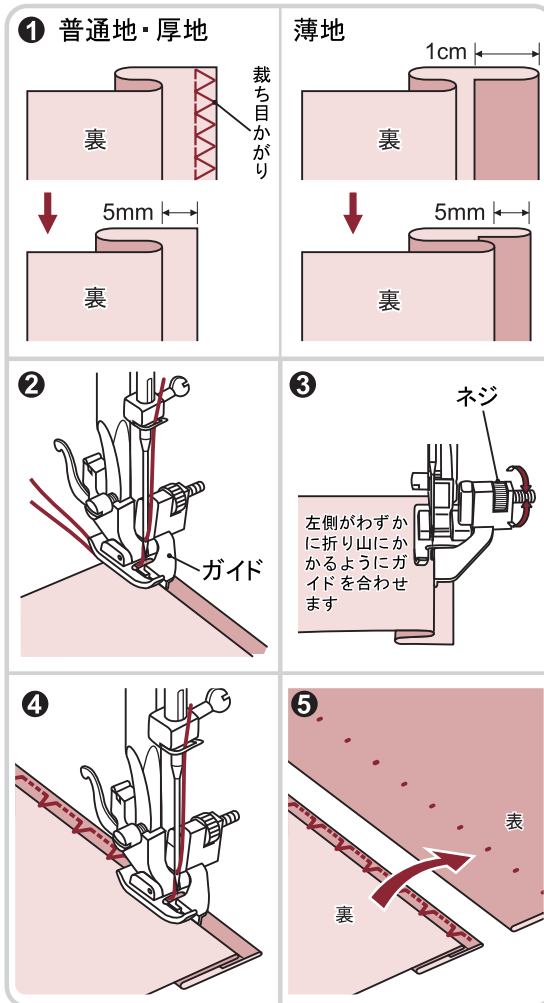
ズボンやスカートの裾、袖口の裁縫に用います。お子さんの服のたけの直しなどにもぜひご利用ください。



注意：ケガ防止のために

○押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

- ① 布を図のように折ります。
縫い上がり後の布地の裏・表を間違えないように注意してください。

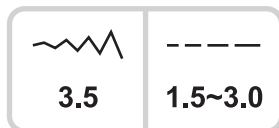
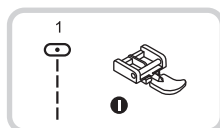


- ② 折り山を押えのガイドにあてます。
- ③ 針が最も左側にきたときに折り山にわずかにかかるようにガイドの位置を調節します。
ネジを手前に回すとガイドは右に、向こう側に回すとガイドは左に移動します。
- ④ 折り山をガイドにあてながら縫います。
- ⑤ 縫い終わったら、布を返します。

※ 針上位置で模様を選ぶと、針は最も左側にくるようになっています。

ファスナー付け

ファスナーは機能的なうえ、装飾にもなります。



注意：ケガ防止のために

○ 押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

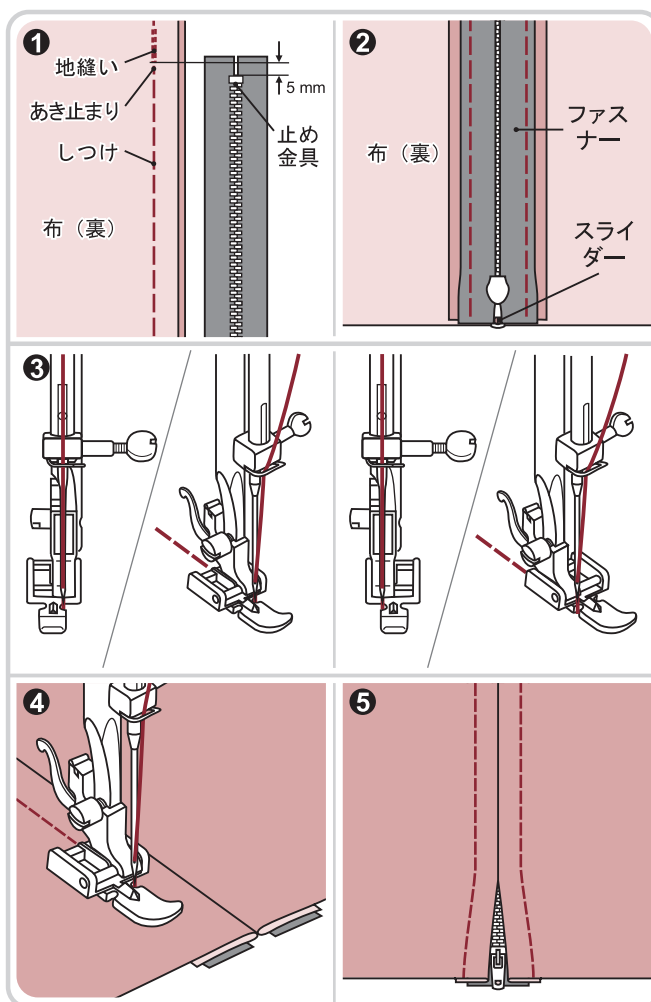
○ ファスナー押えは、必ず直線だけにお使いください。

ほかの模様では、針が押えに当たって折れ危険です。

ファスナーの付け方には「つきあわせ」と「脇あき」の方法があります。

● つきあわせ

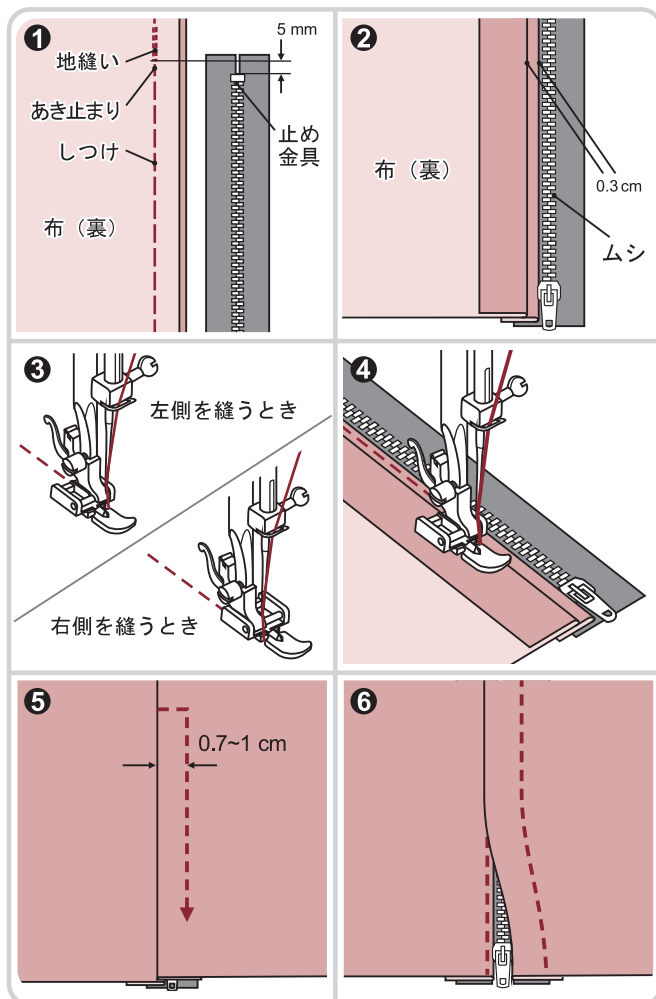
- ① 中表にして、あき止まりまで地縫いをします。あき部分はしつけをします。
- ② 縫い代をわり、ファスナーをしつけます。縫い目の線とファスナーの中心を合わせて、とめます。スライダーは手前に倒します。
- ③ ファスナー押えを取り付けます。ファスナーの左側を縫うときは、押えの右側のみぞを押えホルダーに入れ、右側を縫うときは、左側のみぞをホルダーに入れます。
- ④ ファスナーの左側をあき止まりから縫います。布の合わせ目から 0.7~1cm はなして縫います。
- ⑤ あき止まりと右側を縫い、しつけをとります。右側も同様に 0.7~1cm はなして縫います。



ファスナー付け

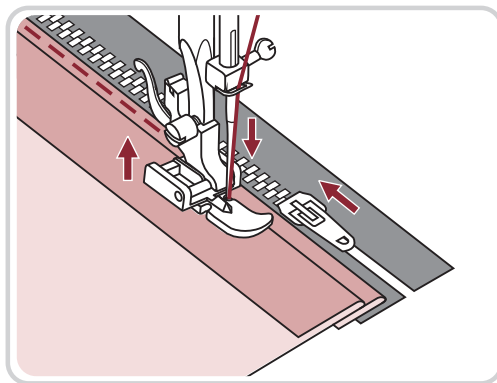
● 脇あき

- ① 中表にして、あき止まりまで地縫いをします。あき部分はしつけをします。
- ② 縫い代をわり・下の布の縫い代を 0.3cm 出して折り目をつけ、折り山をムシに合わせます。
- ③ ファスナー押えを取り付けます。
ファスナーの左側を縫うときは、押えの右側のみぞを押えホルダーに入れ、右側を縫うときは、左側のみぞをホルダーに入れます。
- ④ ファスナーの左側をあき止まりから縫います。押えがファスナーのムシにのらないようにして縫います。
- ⑤ 上の布を開き、あき止まりと右側を縫います。右側は布の折り目から 0.7~1cm はなして縫います。
- ⑥ スライダーの手前で止め、しつけを取り、スライダーを下げて残りを縫います。



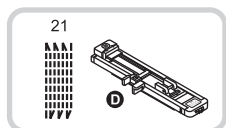
● スライダーをよけて縫うには

1. スライダーの手前でミシンを止めます。
2. 針を下げて布に刺します。
3. 押えを上げて、スライダーを向こう側へ下ろします。
4. 押えを下げて縫い続けます。



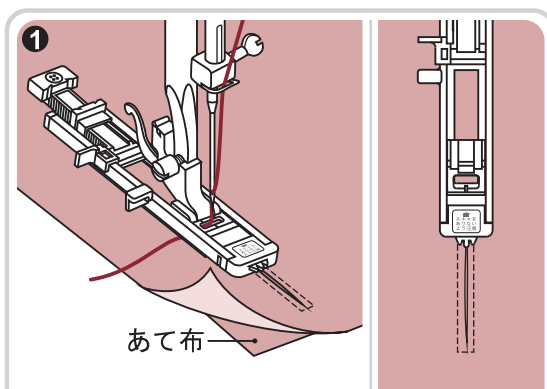
つくろい縫い

服やズボンのちょっとしたかぎ裂きなどの破れをつくろいます。

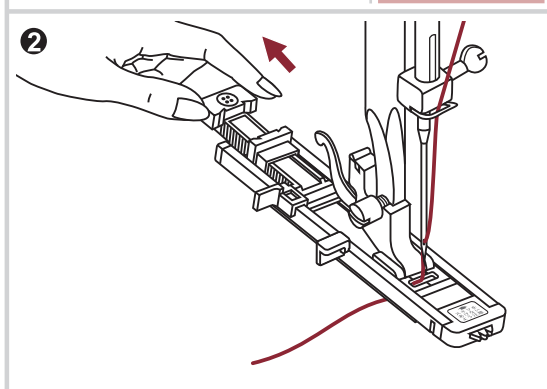


3.5~7.0	1.0~2.0

- ① かぎ裂きなどをした布地の下にあて布を重ねます。
針の位置を指定します。
かぎ裂きの中央上部に押えを下ろします。

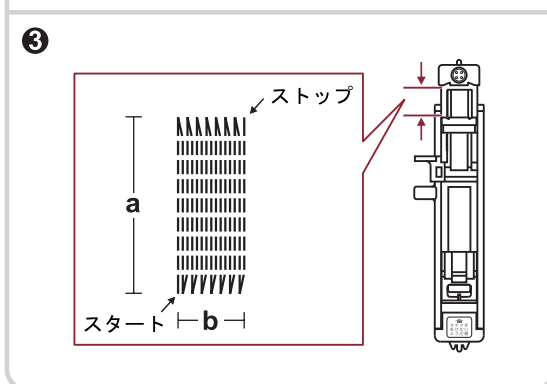


- ② 台皿を引き出し、かぎ裂きにあう長さに合せて、ボタンホール押えのガイドを設定します。



- ③ つくろいの大きさは変えられますが、縫目の長さは最大 2.6mm、振り幅は最大 7.0mm までです。

- a. つくろいの長さ
b. つくろいの幅



つくろい縫い

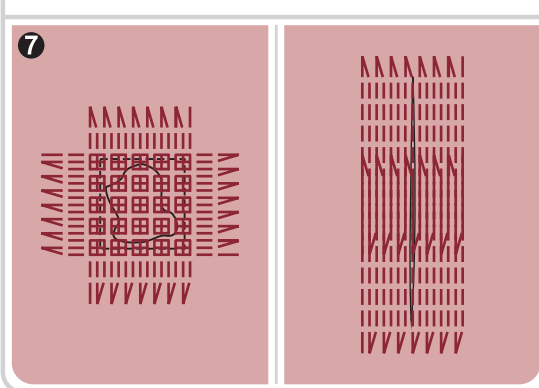
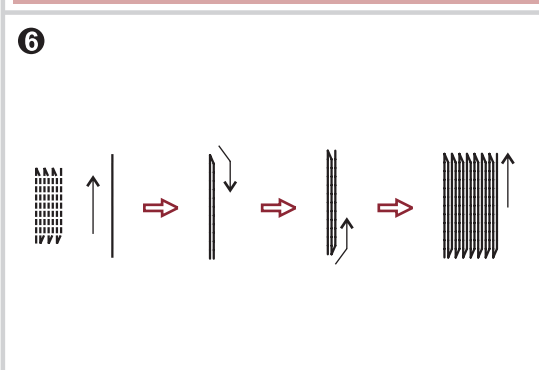
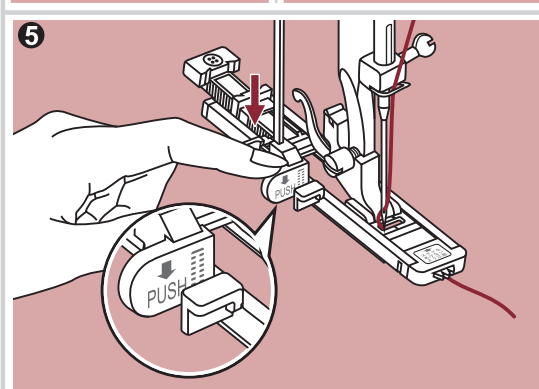
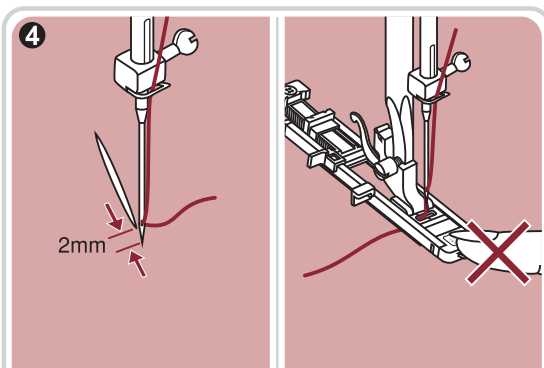
- ④ 針の位置はかぎ裂きより 2mm 手前になるようにします。
そして押えを下ろします。

※押えを下ろすとき、押えの手前を押さないようにしてください。
(かぎ裂きをふさぐ正しい大きさのつくろい縫いできません。)

- ⑤ 上糸は押えの下に通し、手前に出しておきます。
ボタンホールレバーを下げ、左手で上糸を軽く持ち、ミシンをスタートさせます。

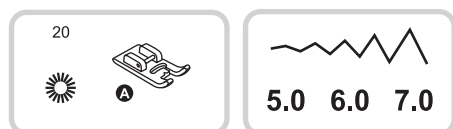
- ⑥ つくろい目が図に示すように押えの前から後ろへと自動的に縫いあがります。

- ⑦ 大きなつくろいをするときは、針位置をかえながら、何回か縫うとよいでしょう。



アイレット

ベルトやひもを通す穴の縁を縫って丈夫にします。



- ① 模様 20 を選びます。
押えはサテン押えを使用します。

- ② 縫い目の振り幅ボタンを押してはと目穴の大きさを決めます。

- A. 大 7.0mm
- B. 中 6.0mm
- C. 小 5.0mm

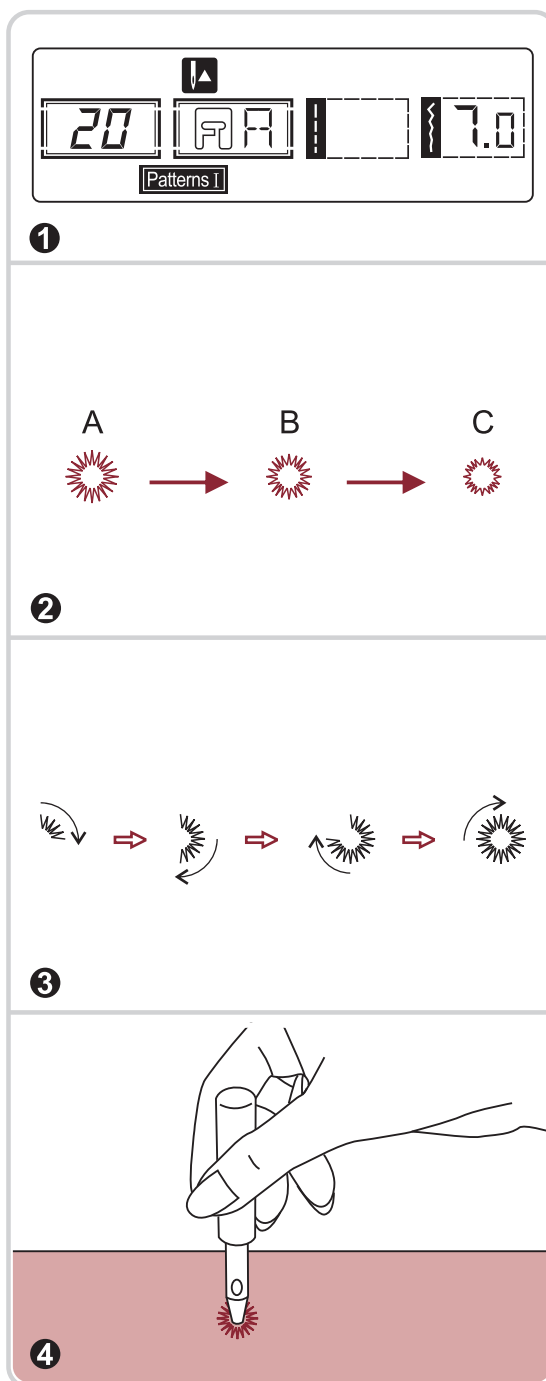
- ③ 布の縫い始めの位置に針を下ろし、押えを下げます。

縫い終わるとミシンは止め縫いをして、自動的に止まります。

- ④ 縫い糸を切らないようぬい穴の中心をハトメ穴パンチで穴をあけます。

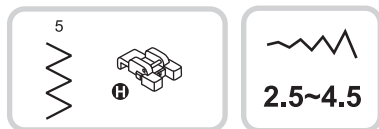
※ハトメ穴パンチはミシンに付属してありません。

※細い糸を使用して縫いが粗くなったときは、もう一度重ね縫いをして丈夫にします。



ボタンつけ

ボタンつけ押えに変えます。



① ドロップフィードレバーで送り歯を下げます。(13ページ参照)

② 布地のボタンをつけたい位置にボタンを置き、押えを下ろします。

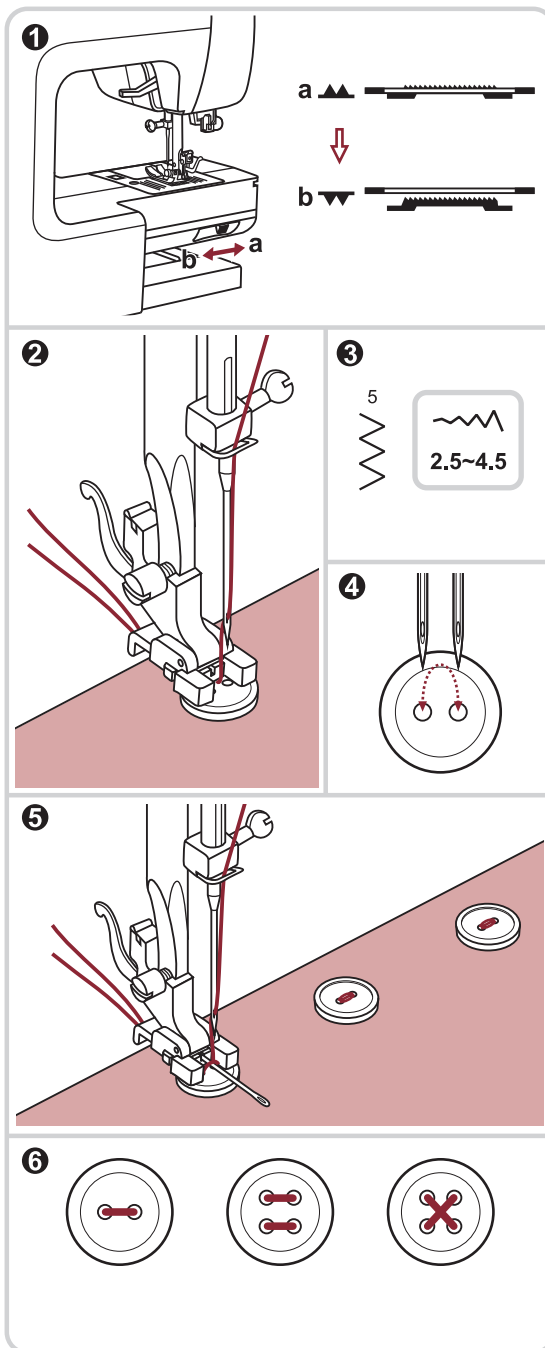
③ ジグザグ縫い 5 を選び、縫い目の幅ボタンを用いて、縫い目の幅がボタン穴の幅に合うよう調節します。

④ はずみ車を事前に回して、針が左にきたときボタンの左の穴に下りるようにします。ボタンの左右の穴が真横にくるようにして押え上げをさげます。はずみ車を回して、針が左右の穴に下りることを確かめます。

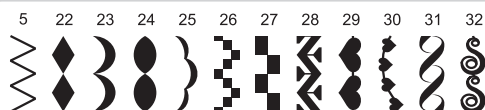
⑤ 縫い始めに止め縫いボタンを押しておくと、縫い始めと縫い終わりに自動的に数針止め縫いをして止まります。

付けたボタンに余裕を持たせたいときは、ボタンの上にまち針をのせて縫います。

⑥ 4つの穴を持ったボタンについては、先に2つの穴を縫いそれから、もう2つの穴を縫います。



飾り縫い



3.5~7.0

0.5~1.0

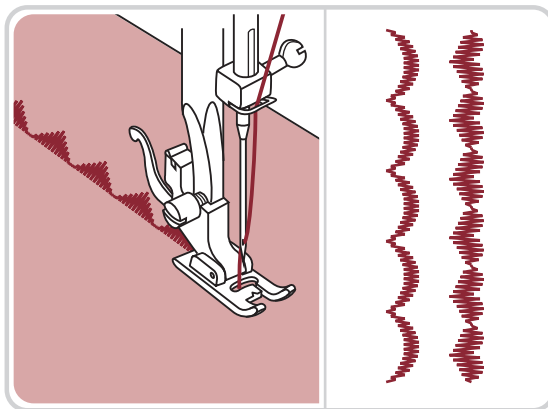
模様を連続して縫うことにより装飾的な効果を得ることができます。

押えはジグザグ押えでもかまいませんが、ジグザグ模様の細かい縫い目には、サテン押えを使うと布の送りがスムーズにできます。

希望する飾り縫いをするために、縫い目の長さや振りをそれぞれのボタンを使用して調節することができます。

布の端切れを利用して、縫いたい模様の希望した長さや幅になるまで試し縫いをしてください。

※非常に薄い布地に縫う場合、布地の下に薄い紙を敷いて、布地と一緒に縫ってください。縫い終わったら、紙を破いてとりのぞきます。



スカラップ

43

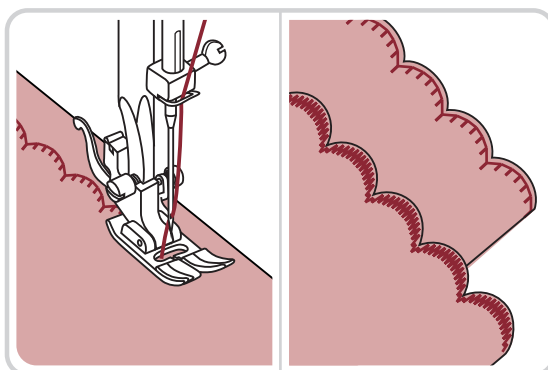


23

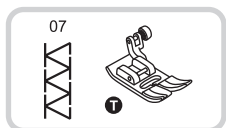


布をおもてから、布端を 1cm くらい残して縫います。

糸を切らないように、外側の布を縫い目にそって切り落とします。

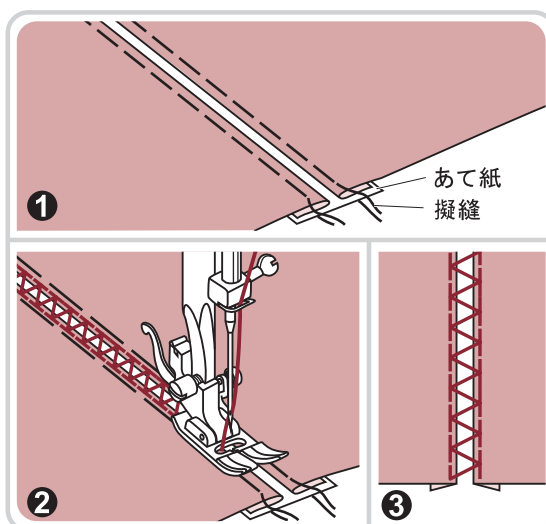


ファゴティング

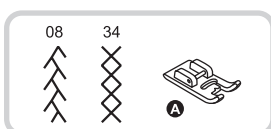
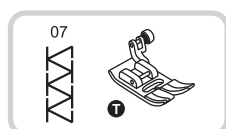


布地と布地の間を離して、糸でかかる方法です。

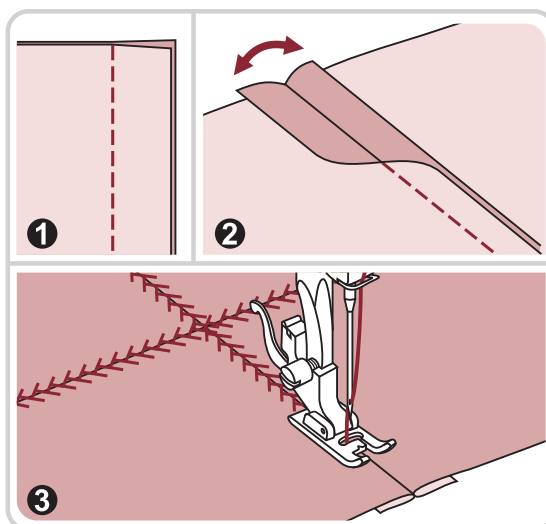
- ① 布端と布端の間隔を0.3～0.4cmあけて、裏に薄いあて紙をします。
- ② 布の表から、間隔の中央を中心にして縫います。
- ③ あて紙をとります。



パッチワーク



- ① 2枚の布の端を合わせ、地縫いをします。
- ② 地縫い部分を折り目にして図のように2枚の布を広げます。
- ③ 布の表から、地縫いの線を中心にして縫います。



反転模様縫い

※ボタンホール模様09～19、アイレット20、つくろい模様21、文字は反転できません。

反転のできる模様は、他の模様との組み合わせもできます。

- ① モード切替えボタン"A"を押して一般模様モードに切替えます。

反転して縫いたい模様を選びます。

- ② 反転記憶ボタン""を押すと液晶表示窓には""が表示され、もう一度ボタンを押すと反転機能が解除され、液晶表示窓より、""が消えます。

模様を変えると、反転機能も一緒に解除され、変えた模様を反転させるためには、もう一度このボタンを押します。

- A. 通常の模様
B. 反転模様



いつでも縫えるように、いくつかの模様を記憶させて、ストックすることができます。ストックされた模様は電源を切っても消えず、いつでも呼び出すことができます。よく使う名前などの文字縫いに適しています。

- ・ 記憶できる模様は 30 種類です。
- ・ 一般模様、文字の二つのモードからいくつか模様を選んで、組み合わせ、一緒に縫うことができます。
- ・ 記憶された模様は、縫い目の長さ、縫い目の振り幅、反転、及び止め縫い機能も通常のときと同様に使用することができます。
- ・ ダイレクト模様モードの模様とボタンホールは記憶することはできません。

● 文字、模様の組み合わせ

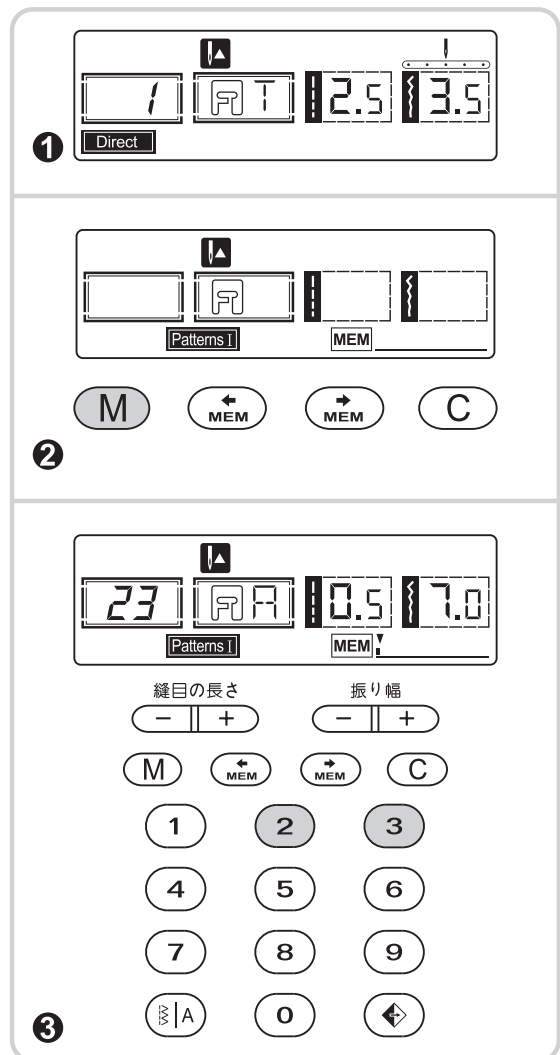
① ミシンの電源を入ると液晶表示窓には、ダイレクト模様モードが表示されます。

② "M" ボタンを押すと、記憶画面に切り替わり、文字や飾り模様を組み合わせで記憶できます。

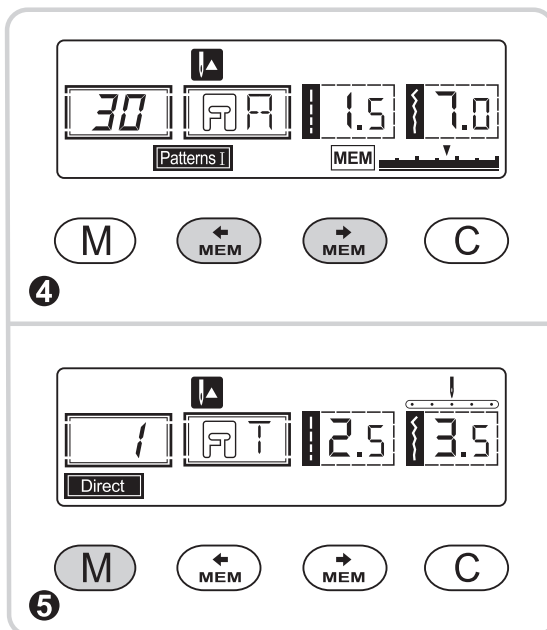
③ "S/A" ボタンを交互に押して一般模様、文字の二つのモードに切換え、縫いたい模様の番号を選びます。(模様に応じて縫い目の長さ、縫い目の振り幅、反転、及び止め縫い等のボタンを使用して設定を変えます。

※30 模様の容量いっぱい記憶したときは、ピッピッという警告音が鳴ります。

※模様の組み合わせが終わったら、最後に止め縫いボタンを押すと組み合わせた模様を一度だけ縫って止め縫いをして縫い終わることができます。



- ④ "MEM" ボタン又は "MEM" ボタンを使用して、記憶した模様を確認します。



- ⑤ "M" ボタンをもう一度押して記憶させると、液晶表示窓は、ダイレクト模様モードに変わります。

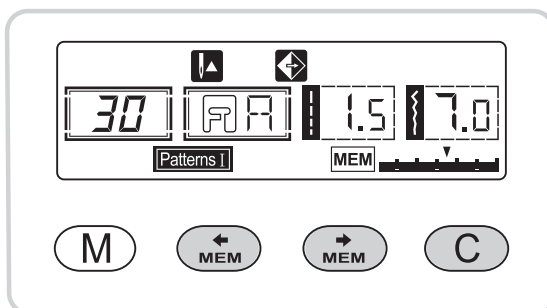
- ⑥ 記憶させた模様をすぐに縫う場合はもう一度 "M" ボタンを押すと記憶させた模様が表示され、縫い始めることができます。

注意："M" ボタンをもう一度押さずにミシンの電源を切ると記憶した模様は取り消されます。

● 組み合わせた模様の取り消し

記憶した模様の中にある模様を取り消したいときは、取り消したい模様の番号が液晶表示窓に現れるまで、"MEM" ボタン又は "MEM" ボタンを押します。

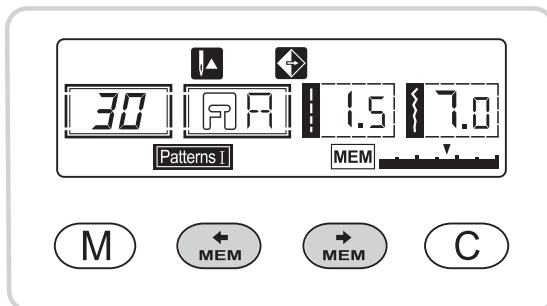
取り消したい模様の番号が表示されたら、"C" ボタンを押して取り消します。模様は次の模様へとつながって一つずれます。



● 組み合わせた模様の変更

変更したい模様の番号を取り消したあと、新たに付け加えたい模様を選び、必要であれば、縫い目の長さ、縫い目の振り幅、反転、及び止め縫い等のボタンも押して設定します。

"M" ボタンを押して記憶します。

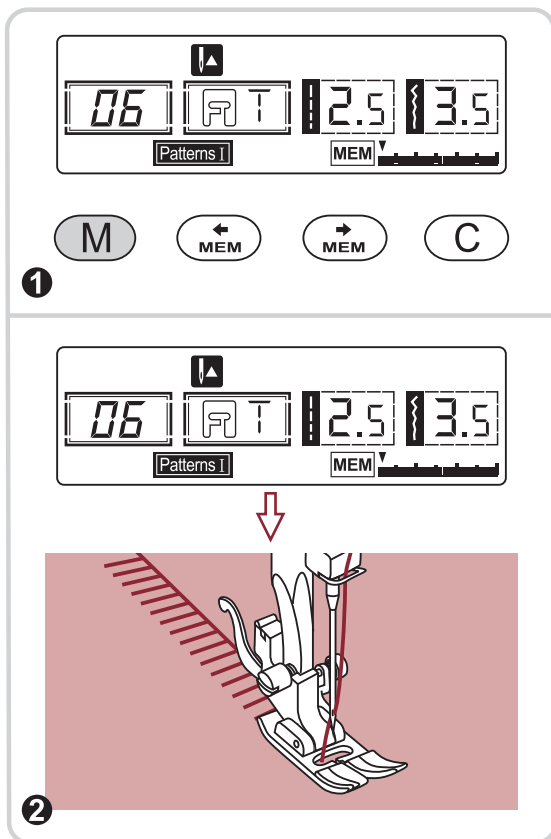


● 記憶した模様の再呼び出し

- ① "M" ボタンを押すと、記憶画面に切り替わります。

液晶表示窓には最初に記憶した模様の番号と、設定した内容が表示されます。

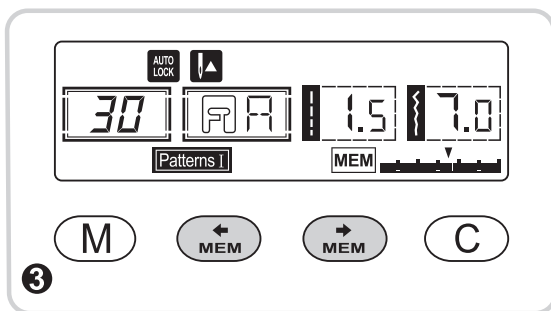
- ② スタート・ストップボタンを押して、縫い始めます。



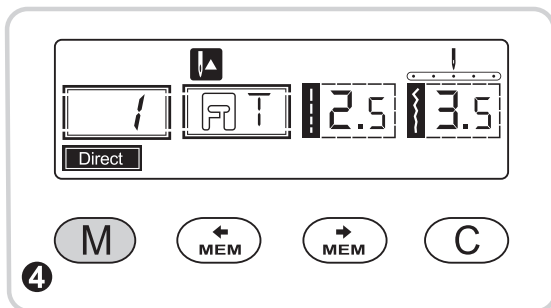
- ③ 記憶した模様を確認したいときや、記憶した模様を縫いたいときは、"← MEM" ボタンまたは "→ MEM" ボタンを使用します。

ミシンを止めて、縫い終わりに止め縫いボタンを使用することもできます。

※止め縫いボタンを押すと液晶表示窓の "AUTO STOP" 表示は消えて、"AUTO LOCK" 表示されます。



- ④ "M" ボタンをもう一度押すと記憶され、液晶表示窓は、ダイレクト模様モードに変わります。

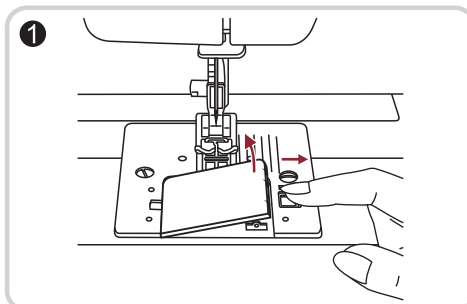


ミシンの手入れ

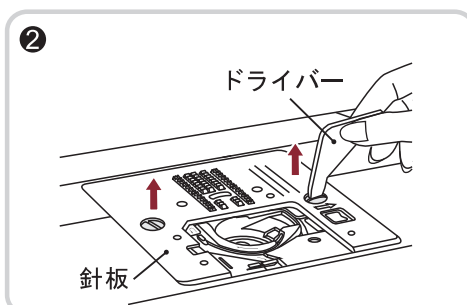
! 注意：ケガ防止のために
お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください。

● 内がまと送り歯の掃除

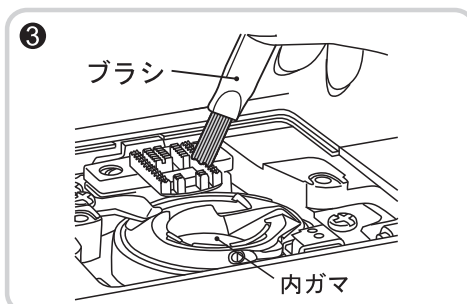
① かまカバーをはずして、ボビンを取り出します。



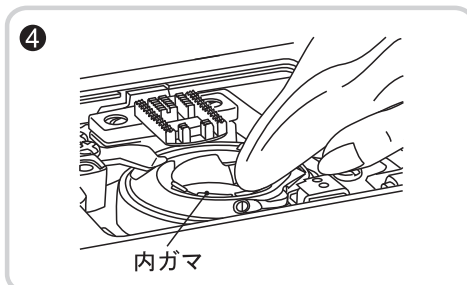
② 針板の止めネジ(2ヶ所)を付属のドライバーではずし、針板を取ります。



③ ブラシで送り歯に付く糸クズやほこりを掃除します。



④ 内がまをブラシで掃除して、布などで軽く拭きます。



LED ライトの交換

ミシンに装備されている LED ライトは非常に長持ちなので、通常は交換の必要はありません。もし万が一、交換の必要が生じた場合には、お買い上げのお店にご相談ください。

困ったときには

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめてください。

不調の状態	原因	処置	参照ページ
ミシンが動かない	○ 電源が入っていない。	電源を入れます。	16
	○ スタート・ストップボタンを押していない。	スタート・ストップボタンを押します。	9
	○ フットコントローラーが取り付けられている。	コントローラーで操作するか、コントローラーをはずします。	63
	○ 糸巻き軸が右へ押されている。	左へもどします。	23
	○ かまに、糸やゴミがたまっている。	糸やゴミを取りのぞきます。	53
布地が縮む	○ 上糸の調子が強すぎる時。	適正な強さに調整します。	29
	○ 上糸の掛け方が、違っていたり、余分な箇所につかかっているとき。	正しく掛け直します。	25
	○ 布地に対して縫い目の長さが長すぎる時。	適正な長さに調整します。	56-61
縫い目に輪ができる 針が折れる	○ 上糸の糸調子が合っていないとき。	適正な強さに調整します。	29
	○ 細い針で厚地を縫ったり、細い針に太い糸を使ったとき。	布地に合った針や糸を使います。	20
	○ 針の取り付けかたが悪かったり、曲った針を使用したとき。	正しくつけ直します。	18
	○ 布地を無理にひっぱったとき。	手は布地にそえるだけにします。	31
	○ 針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	18
	○ 模様に対し押えが合っていない。	模様にあった押えを取りつけます。	56-61
	○ 縫い目の長さが布地に合っていない。	縫い目の長さを調整します。	30
布地を送らない	○ 縫い目の長さが布地に合っていない。	縫い目の長さを調整します。	30

不調の状態	原因	処置	参照ページ
布地を送らない	○ 針が曲がっていたり、針先がつぶれているとき。	針をとりにかえます。	18
	○ 針が糸の太さと合っていないとき。	布地に合った針や糸を使います。	20
	○ 上糸の掛け方が、違っているとき。	正しく掛け直します。	25
縫い目がとぶ	○ 針が正しく取りつけられていないとき。	正しくつけ直します。	18
	○ 針板の下に糸くずがからまっているとき。	掃除します。	53
	○ 針と布糸の材質が合っていないとき。	布地に合った針や糸を使います。	20
	○ 糸の掛け方がちがっているとき。	正しく掛け直します。	25
	○ 針が曲がっていたり、先端がつぶれているとき。	針を取りかえます。	18
上糸が切れる	○ 針が糸の太さと合っていないとき。	布地に合った針や糸を使います。	20
	○ 上糸の調子が強すぎるとき。	適正な強さに調整します。	29
	○ 針の取り付けかたがちがっているとき。	正しくつけ直します。	18
	○ 糸が必要以外のところからみついているとき。	糸を掛け直します。	25
下糸が切れる	○ ボビンのセットがまちがっている。	正しくセットしなおします。	24
	○ かまの中で下糸がからみあっているとき。	からんだ糸を取りのぞきます。	24
ボビンに糸が巻けない	○ ボビンが下糸巻き軸に完全にさしこまれていないとき。	完全に差込みます。	24
布の裏で糸が絡まる	○ 上糸が正しく掛かっていないとき。	正しく掛け直します。	25

この項に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、ご購入店におたずねください。

模様の選び方

● 縫い模様一覧

模 様		振り幅		縫目の長さ		押え 番号	機能			
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	止め縫い	反転／ 押え番号	記憶
実 用 模 様	1 	3.5	0.0~7.0	2.5	0.0~4.5	T	*	*	*	
	2 	0.0	0.0~7.0	2.5	0.0~4.5	T	*	*	*	
	3 	0.0	0.0~7.0	2.5	1.0~3.0	T	*	*	*	
	4 	1.0	1.0~6.0	2.5	1.0~3.0	T	*	*	*	
	5 	5.0	0.0~7.0	2.0	0.3~4.5	T	*	*	*	
	6 	5.0	2.0~7.0	1.0	0.3~4.5	T	*	*	*	
	7 	5.0	3.5~7.0	2.5	1.0~3.0	E	*	*	*/T	
	8 	5.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	D				
	9 	5.0	2.5~5.5	0.5	0.3~1.0	D				
	0 	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	D				

*使用可

● 一般模様モード

模 様		振り幅		縫目の長さ		押え 番号	機能			
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	止め縫い	反転／ 押え番号	記憶
実 用 模 様	01 	3.5	0.0~7.0	2.5	1.5~3.0	T	*	*	*	*
	02 	5.0	2.5~7.0	2.5	1.0~3.0	T	*	*	*	*
	03 	5.0	2.5~7.0	2.5	1.0~3.0	T	*	*	*	*
	04 	3.5	2.5~7.0	2.0	0.5~4.5	F	*	*	*/T	*
	05 	3.5	2.5~7.0	1.0	0.5~4.5	F	*	*	*/T	*
	06 	3.5	2.5~7.0	2.5	1.5~3.0	T	*	*	*	*
	07 	5.0	2.5~7.0	2.5	1.0~3.0	T	*	*	*	*
	08 	5.0	2.5~7.0	2.5	1.0~3.0	A	*	*	*	*
ボ タ ン ホ ール	09 	5.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	D				
	10 	5.5	3.0~7.0	0.5	0.3~1.0	D				
	11 	5.0	2.5~5.5	0.5	0.3~1.0	D				
	12 	6.0	3.0~7.0	0.5	0.3~1.0	D				
	13 	5.0	2.5~5.5	0.5	0.3~3.0	D				
	14 	5.0	2.5~5.5	0.5	0.3~1.0	D				
	15 	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	D				
	16 	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	D				
	17 	7.0	5.5~7.0	0.5	0.3~1.0	D				
	18 	6.0	3.0~7.0	1.0	1.0~2.0	D				
	19 	6.0	3.0~7.0	1.5	1.0~3.0	D				
穴かがり	20 	7.0	7.0,6.0,5.0	--	--	A				
つくろい模様	21 	7.0	3.5~7.0	2.0	1.0~2.0	D				
サ テ ン 模 様	22 	7.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	A	*	*	*	*
	23 	7.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	A	*	*	*	*
	24 	7.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	A	*	*	*	*
	25 	7.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	A	*	*	*	*
	26 	7.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	A	*	*	*	*

*使用可

模様の選び方

模 様		振り幅		縫目の長さ		押え 番号	機能			
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	止め縫い	反転/ 押え番号	記憶
サ テ ン 模 様	27	7.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	A	*	*	*	*
	28	7.0	4.0~7.0	0.5	0.5~1.0	A	*	*	*	*
	29	7.0	2.5~7.0	0.5	0.3~1.0	A	*	*	*	*
	30	7.0	3.5~7.0	1.5	1.0~3.0	A	*	*	*	*
	31	7.0	2.5~7.0	0.5	0.5~1.0	A	*	*	*	*
	32	7.0	4.0~7.0	0.5	0.5~1.0	A	*	*	*	*
ク ロ ス 模 様	33	6.0	3.0~7.0	1.5	1.0~3.0	A	*	*	*	*
	34	5.0	2.5~7.0	2.5	1.0~3.0	A	*	*	*	*
	35	6.0	5.0~7.0	1.5	1.5~3.0	A	*	*	*	*
	36	6.0	3.0~7.0	1.0	1.0~3.0	A	*	*	*	*
	37	6.0	5.0~7.0	1.5	1.0~3.0	A	*	*	*	*
飾 り 模 様	38	5.0	2.5~7.0	2.5	1.5~3.0	T	*	*	*	*
	39	5.0	3.0~7.0	3.0	1.5~3.0	A	*	*	*	*
	40	7.0	2.5~7.0	2.0	1.0~3.0	T	*	*	*	*
	41	5.0	2.5~7.0	2.5	1.5~3.0	T	*	*	*	*
	42	7.0	2.5~7.0	1.5	1.0~3.0	A	*	*	*	*
	43	7.0	2.5~7.0	2.5	1.0~4.5	T	*	*	*	*
	44	6.0	4.5~7.0	1.0	1.0~3.0	A	*	*	*	*
	45	7.0	3.0~7.0	3.0	2.0~3.0	A	*	*	*	*
	46	7.0	3.5~7.0	2.5	1.5~3.0	T	*	*	*	*
	47	7.0	2.5~7.0	3.0	2.0~3.0	A	*	*	*	*
	48	7.0	3.0~7.0	2.0	2.0~3.0	A	*	*	*	*
	49	7.0	4.5~7.0	2.0	2.0~3.0	A	*	*	*	*
	50	7.0	4.0~7.0	3.0	2.5~3.0	A	*	*	*	*
	51	6.0	2.5~7.0	2.0	1.5~3.0	A	*	*	*	*
	52	5.0	2.5~7.0	2.0	1.0~3.0	T	*	*	*	*
	53	5.0	2.5~7.0	2.0	1.0~3.0	T	*	*	*	*
	54	7.0	3.0~7.0	2.5	2.0~3.0	A	*	*	*	*
	55	6.0	4.5~7.0	2.5	2.0~3.0	A	*	*	*	*
	56	6.0	3.5~7.0	3.0	1.5~3.0	T	*	*	*	*
	57	7.0	5.0~7.0	2.0	2.0~3.0	A	*	*	*	*
	58	5.0	3.0~7.0	2.0	1.0~3.0	T	*	*	*	*
数 字	59 1	7.0	--	--	--	A		*	*	*
	60 2	7.0	--	--	--	A		*	*	*
	61 3	7.0	--	--	--	A		*	*	*
	62 4	7.0	--	--	--	A		*	*	*
	63 5	7.0	--	--	--	A		*	*	*
	64 6	7.0	--	--	--	A		*	*	*
	65 7	7.0	--	--	--	A		*	*	*
	66 8	7.0	--	--	--	A		*	*	*

*使用可

模様の選び方

模 様			振り幅		縫目の長さ		押え 番号	機能			
			自動	手動	自動	手動		返し縫い	止め縫い	反転／ 押え番号	記憶
数字	67	9	--	--	--	--	A		*	*	*
	68	0	--	--	--	--	A		*	*	*
アル ファ ベ ット	69	A	--	--	--	--	A		*	*	*
	70	B	--	--	--	--	A		*	*	*
	71	C	--	--	--	--	A		*	*	*
	72	D	--	--	--	--	A		*	*	*
	73	E	--	--	--	--	A		*	*	*
	74	F	--	--	--	--	A		*	*	*
	75	G	--	--	--	--	A		*	*	*
	76	H	--	--	--	--	A		*	*	*
	77	I	--	--	--	--	A		*	*	*
	78	J	--	--	--	--	A		*	*	*
	79	K	--	--	--	--	A		*	*	*
	80	L	--	--	--	--	A		*	*	*
	81	M	--	--	--	--	A		*	*	*
	82	N	--	--	--	--	A		*	*	*
	83	O	--	--	--	--	A		*	*	*
	84	P	--	--	--	--	A		*	*	*
	85	Q	--	--	--	--	A		*	*	*
	86	R	--	--	--	--	A		*	*	*
	87	S	--	--	--	--	A		*	*	*
	88	T	--	--	--	--	A		*	*	*
	89	U	--	--	--	--	A		*	*	*
	90	V	--	--	--	--	A		*	*	*
	91	W	--	--	--	--	A		*	*	*
	92	X	--	--	--	--	A		*	*	*
	93	Y	--	--	--	--	A		*	*	*
	94	Z	--	--	--	--	A		*	*	*
	95	&	--	--	--	--	A		*	*	*
	96	?	--	--	--	--	A		*	*	*
	97	!	--	--	--	--	A		*	*	*
	98	.	--	--	--	--	A		*	*	*
	99	-	--	--	--	--	A		*	*	*
	00	,	--	--	--	--	A		*	*	*

*使用可

模様の選び方

● 文字モード

模 様	振り幅		縫目の長さ		押え 番号	機能			
	自動	手動	自動	手動		返し縫い	止め縫い	反転／ 押え番号	記憶
ひ ら が な	01 あ	--	--	--	A		*		*
	02 い	--	--	--	A		*		*
	03 う	--	--	--	A		*		*
	04 え	--	--	--	A		*		*
	05 お	--	--	--	A		*		*
	06 か	--	--	--	A		*		*
	07 き	--	--	--	A		*		*
	08 く	--	--	--	A		*		*
	09 け	--	--	--	A		*		*
	10 こ	--	--	--	A		*		*
	11 さ	--	--	--	A		*		*
	12 し	--	--	--	A		*		*
	13 す	--	--	--	A		*		*
	14 せ	--	--	--	A		*		*
	15 そ	--	--	--	A		*		*
	16 た	--	--	--	A		*		*
	17 ち	--	--	--	A		*		*
	18 つ	--	--	--	A		*		*
	19 て	--	--	--	A		*		*
	20 と	--	--	--	A		*		*
	21 な	--	--	--	A		*		*
	22 に	--	--	--	A		*		*
	23 ぬ	--	--	--	A		*		*
	24 ね	--	--	--	A		*		*
	25 の	--	--	--	A		*		*
	26 は	--	--	--	A		*		*
	27 ひ	--	--	--	A		*		*
	28 ふ	--	--	--	A		*		*
	29 へ	--	--	--	A		*		*
	30 ほ	--	--	--	A		*		*
	31 ま	--	--	--	A		*		*
	32 み	--	--	--	A		*		*
	33 む	--	--	--	A		*		*
	34 め	--	--	--	A		*		*
	35 も	--	--	--	A		*		*
	36 や	--	--	--	A		*		*
	37 ゆ	--	--	--	A		*		*
	38 よ	--	--	--	A		*		*
	39 ら	--	--	--	A		*		*
	40 り	--	--	--	A		*		*

模様の選び方

模 様		振り幅		縫目の長さ		押え 番号	機能			
		自動	手動	自動	手動		返し縫い	止め縫い	反転／ 押え番号	記憶
ひ ら が な	41 る	--	--	--	--	A		*		*
	42 れ	--	--	--	--	A		*		*
	43 ろ	--	--	--	--	A		*		*
	44 わ	--	--	--	--	A		*		*
	45 を	--	--	--	--	A		*		*
	46 ん	--	--	--	--	A		*		*
	47 み	--	--	--	--	A		*		*
	48 ゑ	--	--	--	--	A		*		*
	49 が	--	--	--	--	A		*		*
	50 ぎ	--	--	--	--	A		*		*
	51 ぐ	--	--	--	--	A		*		*
	52 げ	--	--	--	--	A		*		*
	53 ご	--	--	--	--	A		*		*
	54 ざ	--	--	--	--	A		*		*
	55 じ	--	--	--	--	A		*		*
	56 ず	--	--	--	--	A		*		*
	57 ぜ	--	--	--	--	A		*		*
	58 ぞ	--	--	--	--	A		*		*
	59 だ	--	--	--	--	A		*		*
	60 ぢ	--	--	--	--	A		*		*
	61 づ	--	--	--	--	A		*		*
	62 で	--	--	--	--	A		*		*
	63 ど	--	--	--	--	A		*		*
	64 ば	--	--	--	--	A		*		*
	65 び	--	--	--	--	A		*		*
	66 ぶ	--	--	--	--	A		*		*
	67 べ	--	--	--	--	A		*		*
	68 ぼ	--	--	--	--	A		*		*
	69 ぱ	--	--	--	--	A		*		*
	70 ぴ	--	--	--	--	A		*		*
	71 ぷ	--	--	--	--	A		*		*
	72 ぺ	--	--	--	--	A		*		*
	73 ぽ	--	--	--	--	A		*		*
	74 あ	--	--	--	--	A		*		*
	75 い	--	--	--	--	A		*		*
	76 う	--	--	--	--	A		*		*
	77 え	--	--	--	--	A		*		*
	78 お	--	--	--	--	A		*		*
	79 っ	--	--	--	--	A		*		*
	80 や	--	--	--	--	A		*		*

模様の選び方

模 様			振り幅		縫目の長さ		押え 番号	機能			
			自動	手動	自動	手動		返し縫い	止め縫い	反転／ 押え番号	記憶
ひらがな	81	ゆ	--	--	--	--	A		*		*
	82	よ	--	--	--	--	A		*		*
	83	□	--	--	--	--	A		*		*
漢字	84	保	--	--	--	--	A		*		*
	85	育	--	--	--	--	A		*		*
	86	園	--	--	--	--	A		*		*
	87	幼	--	--	--	--	A		*		*
	88	稚	--	--	--	--	A		*		*
	89	部	--	--	--	--	A		*		*
	90	小	--	--	--	--	A		*		*
	91	中	--	--	--	--	A		*		*
	92	高	--	--	--	--	A		*		*
	93	学	--	--	--	--	A		*		*
	94	校	--	--	--	--	A		*		*
	95	年	--	--	--	--	A		*		*
	96	組	--	--	--	--	A		*		*
	97	才	--	--	--	--	A		*		*
	98	生	--	--	--	--	A		*		*
	99	日	--	--	--	--	A		*		*
	00	月	--	--	--	--	A		*		*

*使用可

修理サービス要領

● 修理サービスのご相談

- 1 このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 2 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

● 修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製造打ち切り後、通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

● 無料修理保証期間後の修理サービス

- 1 使用の手びきに基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスいたします。
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
 - イ 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - ニ ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - ホ 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
- 3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。
- 4 このミシンは持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、お願いいたします。

160年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは、迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭に安心して使えるミシンをお届けいたしております。

フットコントローラー(別売り)

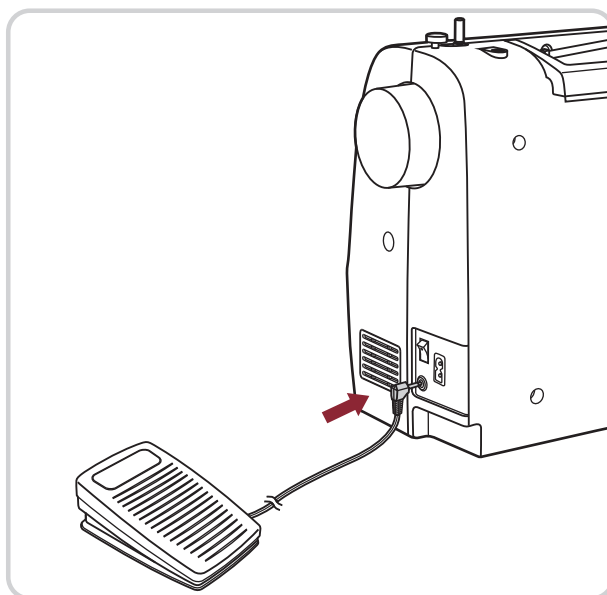
○フットコントローラーを使うとミシンのスピードを足で調節することができます。

警告： 感電、火災を防ぐために
コントローラーは落としたり、座布団の下において使用しないでください。

注意： ケガ防止のために
コントローラーを接続するときは必ず電源スイッチを切ってください。

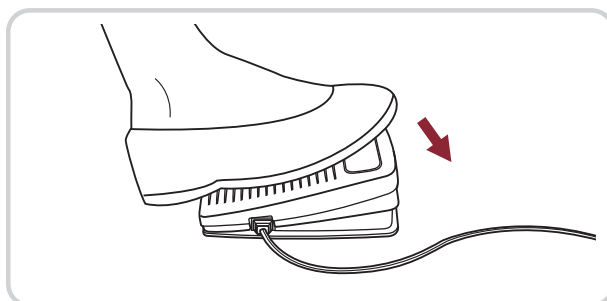
● 接続の仕方

右図のように、フットコントローラーのプラグをコントローラー差込口に差し込んで接続します。



● コントローラーの使い方

- ・ 軽く 踏む 縫いスピードは遅い。
- ・ 深く 踏む 縫いスピードは速い。



株式会社ハッピージャパン

ミ シ ン 営 業 部

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目9番5号
電話 03-3837-1865

(本社) 〒990-2251 山形県山形市立谷川3丁目3515